



digital
SOUND

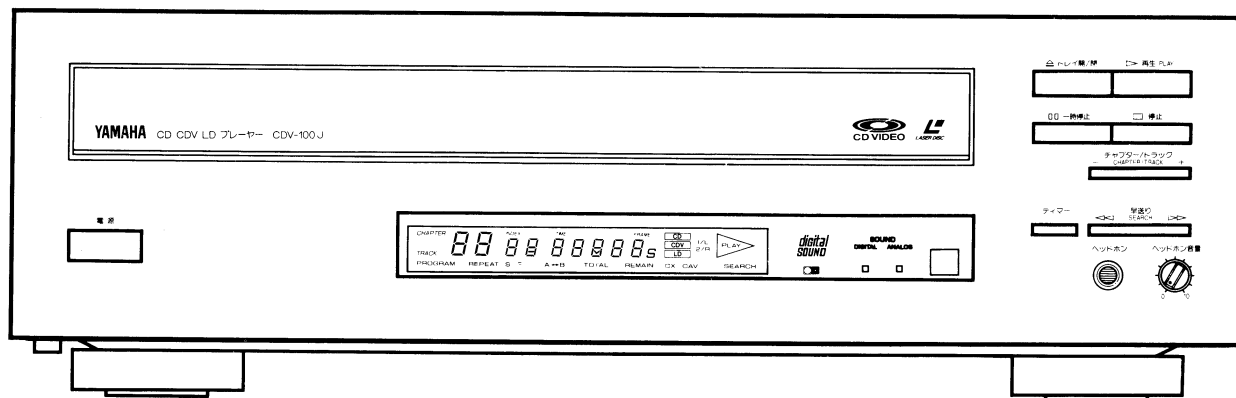


COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

CDV-100J

CD CDV LDプレーヤー

取扱説明書



NTSC

YAMAHA

ご使用前に必ずお読みください。

このたびはヤマハCD CDV LDプレーヤーCDV-100Jをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

CDV-100Jの優れた性能を十分に発揮させるとともに、末永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用の前にぜひお読みくださいますよう、お願いいたします。

なお、お読みになったあとは、保証書とともに必ず保存してください。

目次

特長	2
豊かなAVライフのために	3
ご使用の前に	4
リモコンを使う前に	5
ディスクについて	6
リアパネル各部の名称とはたらき	10
接続のしかた	11
フロントパネル各部の名称とはたらき	13
リモコン各部の名称とはたらき	16
再生のしかた(基本操作) LD CDV CD	20
一曲再生 LD CDV CD	24
音声切替について LD CDV CD	25
CX NRについて LD CDV	25
デジタル/アナログ音声切替について LD CDV	26
画面表示について LD CDV	27
表示切替について CDV CD	28
スキップ機能について LD CDV CD	29
サーチ機能について LD CDV CD	30
フレームナンバーサーチ/タイムナンバーサーチ/5分インデックスサーチ LD CDV	32
インデックスサーチ CDV CD	35
プログラム再生 LD CDV CD	36
メモリー再生 LD CDV CD	38
マルチスピード再生 LD CDV	40
静止画/コマ送り再生 LD CDV	41
リピート再生 LD CDV CD	42
故障かなと思ったら	45
参考仕様	47
ヤマハホットラインサービスネットワーク	48

特長

本機はデジタルインターフェース対応のCD CDV LDプレーヤーです。

●デジタル音声出力端子

オプティカルデジタル音声出力端子を装備していますので、デジタルのクオリティを生かした再生をすることができます。また本機はアナログ音声出力端子も装備していますので、システムに合わせた接続をすることができます。

●リモコンボリューム

新開発16ステップアッテネーターを搭載していますので、音量をリモコンで調整することができます。

●Sビデオ出力端子装備

高品質再生にかかせないSビデオ出力端子を装備しています。

●一曲再生機能

一曲の再生が終わりますと自動的にポーズ状態になる一曲再生機能があります。カラオケディスクの再生のときなどに便利です。

●5分インデックス機能

5分単位で画面を呼び出すことができますので、チャプターの記録されていないディスクでも、その内容をスピーディに知ることができます。

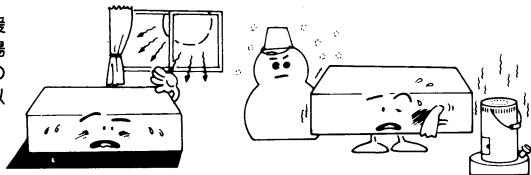
●メモリーストップ機能

再生中にストップさせますと、そのときのフレーム、タイムあるいはトラックとインデックスがメモリーされますので、そこから再び再生したいときに便利です。

豊かなAVライフのために

高温・低温はさけて！

窓際や直射日光の当たる場所暖房器具のそばなど極端に暑い場所(周囲温度35℃以上)・温度の特に低い場所(周囲温度5℃以下)は、さけてください。



結露現象について

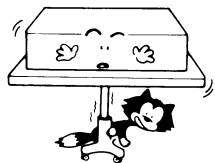
本機を冷えきった状態のまま暖かい室内に持ち込んだり急に室温を上げたりしますと動作部に露が生じ、本機の性能を十分に発揮できなくなる場合があります。このような場合には電源を入れてから1～2時間程度放置するか、徐々に室温を上げてからご使用ください。

ほこり・水気をさけて！



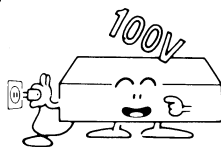
ほこり・水気の多い場所はさけてください。本機の上には、花びんや金魚鉢など水の入ったものは置かないでください。

不安定な場所をさけて！

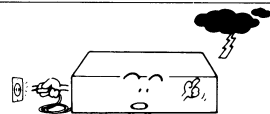


国内のみ使用可

家庭用電源コンセント
AC100V



雷が近づいたら



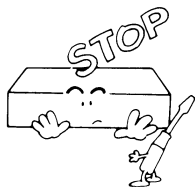
早めに電源プラグをコンセントから抜いてください。このときアンテナ線には絶対に触れないでください。

薬物厳禁



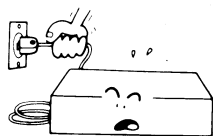
ベンジン、シンナーなどの溶剤でふくと、変質したり変色します。薬物の使用はさけてください。掃除をするときは、柔らかい布でカラぶきしてください。また接点復活剤は金属部分以外に付着しないようにご使用ください。

開けないで！



内部に手を入れると危険です。ケースは開けないでください。

引っぱらないで！



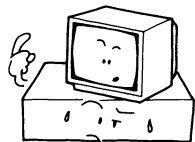
電源コード・ピンコードを抜くときは、コードを引っぱらないで必ずプラグを持って抜いてください。

保証書の手続きを！

お買い求めいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証書に販売店名、購入日などがありませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがありますので、充分ご注意ください。



上へのせないでください！



こわれた？



45ページの「故障かなと思ったら」をご覧ください。

これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

音楽を楽しむエチケット

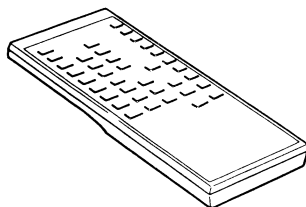
楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を充分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

ご使用の前に

付属品を確認してください

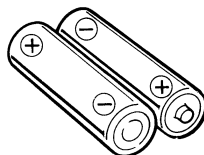
付属品は4点あります。

● リモコン



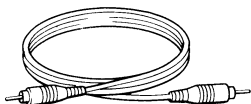
● 乾電池

単4 (SUM-4) × 2本



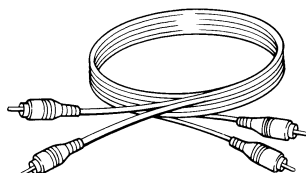
● 映像ケーブル

カラーモニターや映像入力端子付テレビを使用する場合、本機の映像出力端子と、モニターテレビの映像入力端子の接続に使用します。



● 音声ケーブル

本機の音声出力端子とステレオアンプやモニターテレビの音声入力端子の接続に使用します。



本機を輸送するときは、必ずディスクトレイからディスクを取り出してから輸送してください。

設置について

本機の電子部品や、精密なメカニズムを保護し、良好な状態でご使用いただくために、次のことに注意して本機の設置を行なってください。

- 本機の上に物を置かないでください。
- 直射日光や高温の場所はさけてください。
- 水平な場所に設置してください。傾いた場所でご使用になりますとディスクを傷つけることがあります。
- 湿気やほこりをさけてください。

■ 設置場所について

本機を発熱をとまなうアンプなどの上に積み重ねたり、通気性の悪いラックなどに入れて使用されますと、ディスクや本機に悪い影響を与えますので通気の良い場所に設置してください。また、本機の上にも物を載せないでください。

■ スピーカー、テレビ、チューナーの設置

- 本機の上にテレビ(カラーモニター)を設置しないでください。また、テレビ(カラーモニター)の上に本機を設置しないでください。
- テレビ(モニター)はスピーカーの磁気の影響を受けないよう離して設置してください。
- FM・AM放送を受信しているとき、本機の電源が入っていると受信音に雑音が入る場合があります。本機を使用しないときには電源を切っておいてください。

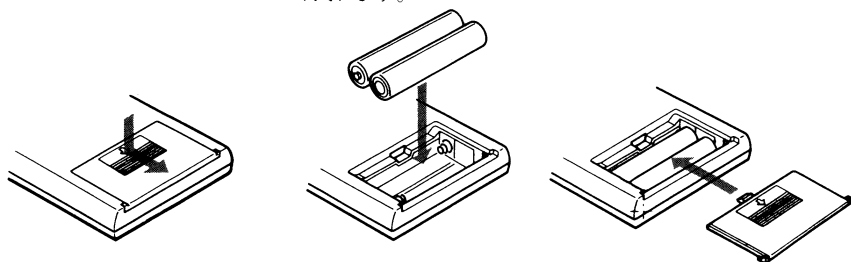
■ 結露現象について

- 本機を寒い部屋から、急に暖かい部屋に移したりしますとピックアップ部に結露を生じ、正常に動作しないときがあります。そのようなときは電源をいれたまま1～2時間待ってから操作してください。

リモコンを使う前に

●電池の入れかた

- ①リモコンの裏側のふたをはずします。
- ②付属の電池SUM-4（単4）2本を、⊕⊖の向きをケース内の表示に合わせて正しく入れます。
- ③電池交換がすんだらカチッと音がするまでしめます。



●電池の交換時期は？

リモコン操作できる距離が短くなってきたら電池が消耗しています。そのときは、2本とも新しい電池に交換してください。

乾電池についてのご注意

乾電池は使いかたを誤ると、液もれや破裂などの危険があります。次の点については、特にご注意ください。

電池交換のときは

- プラス(⊕)とマイナス(⊖)の向きを、電池ケース内の表示通りに正しく入れてください。
- 新しい乾電池と一度使用したものを混ぜて使わないでください。
- 種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。同じ形状でも性能の異なるものがあります。

充電について

- 電池には充電式とそうでないものがあります。電池の注意表示をよく見てご使用ください。

リモコンをお使いになる上で

- 長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出しておいてください。
- 消耗してきた電池は、早めに交換してください。

万一の事故を防ぐために

- 分解や加熱をしたり、火の中に入れたりしないでください。また、捨てるときは、指定の場所に捨ててください。

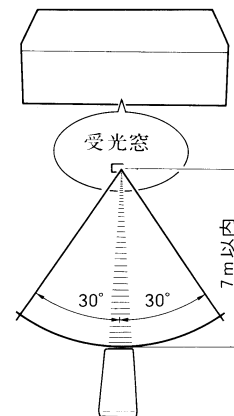
- ⊕と⊖を金属片などで直接つなぐこと(ショート)はしないでください。

液もれがおこったときは

電池ケースについてた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

リモコンについてのご注意

リモコンの使用範囲は



図の範囲内であっても、ディスクトレイが開いていて、それによってリモコンからの信号がさげざられていると、動作しませんので、ご使用になる角度に注意してください。

リモコンが動作しなくなったら…

電池が消耗していることがあります。新しい電池に取り換えてみてください。また、本機の電源が入っているかどうかもお確かめください。

付属のリモコンは…

本機専用です。近くに他の機器が設置されていると、誤動作をおこすことがあります。リモコン操作によって誤動作する機器があるときは、その機器のリモコン受光窓をふさぐか、設置場所を変えてください。

ていねいに扱ってください。

お茶や水をこぼしたり、強くたたいたり、落としたりしないでください。ストーブのそばや風呂場など、温度・湿度の高い所にも置かないようにご注意ください。

リモコン受光窓に、直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようご注意ください。

強い光が当たっていると、リモコンが動作しなかったり、働きにくくなります。

ディスクについて

本機で再生できるディスクは下表の通りです

●ディスクマークはディスクのジャケットや解説書に記載されています。

マ ー ク	デ ィ ス ク	サ イ ズ	記号記録面	音声記録方式	映像記録方式	サ ー チ の 種 類	そ の 他
	 CDシングル	8 cm	片 面	デジタル (最長20分)		トラックサーチ インデックスサーチ	TOC(*1)
	CD (コンパクトディスク)	12cm	片 面	デジタル (最長70分)		トラックサーチ インデックスサーチ	TOC INDEX(*2)
	CDV (コンパクトディスクビデオ)	12cm	片 面	デジタル (最長20分)	CLV(*3) (最長5分)	トラックサーチ インデックスサーチ	TOC INDEX
	CDV-LD (CDVフォーマット) レーザーディスク LDシングル	20cm または 30cm	両 面 または 片 面	デジタルおよび アナログ	CAV(*4) または CLV	チャプター／トラックサーチ 5分インデックスサーチ (CLV) インデックスサーチ フレームナンバーサーチ (CAV) タイムナンバーサーチ (CLV)	TOC INDEX
	LD (レーザーディスク)	20cm または 30cm	両 面 または 片 面	デジタルおよび アナログ (*5) または アナログのみ	CAV または CLV	チャプターサーチ 5分インデックスサーチ (CLV) フレームナンバーサーチ (CAV) タイムナンバーサーチ (CLV)	



本機の再生するLD (レーザーディスク) は、このマークのあるディスクに限ります。このマークはビデオディスクの世界統一マークです。CED方式およびVHD方式のビデオディスクは使用できません。


●本機は日本のテレビ方式であるNTSC方式に適合しています。他のテレビ方式 (PAL, SECAM) の表示のあるディスクおよびテレビは使用できません。

■TOCについて(* 1)

CD、CDVは、ディスクの最初の部分にTOC(テーブルオブコンテンツ)と呼ばれる部分があります。これは本における目次と同様のもので、そのディスクに納められている内容(トラック数や演奏時間など)が記録されています。

■INDEXについて(* 2)

CD、CDVのなかには、クラシック音楽など、ひとつの曲がいくつかの楽章によって構成されている場合、各楽章ごとにインデックスと呼ばれるナンバーをつけているものがあります。そのようなディスクは、インデックスから再生をスタートさせることができます。再生の前にディスクの説明書をお確かめください。

- インデックスナンバーが記録されているCDおよびCDVには  マークがディスクの解説書に記載されています。

■映像の記録方式について

●標準ディスク/CAV(* 3、4)

CAV(Constant Angular Velocity)ディスクとも言い、ディスクの内周から外周にかけて一定回転で信号が記録されています。30cmディスクの場合、片面には、最大30分まで、フレーム(画面)数にして54,000枚まで記録されます。

標準ディスクは、すべてのフレーム(画面)に番号がつけられており、トリックプレイ(静止/コマ送り、可変速再生)、オートピクチャストップができます。


また、チャプターサーチ、フレームサーチ、各種リピート再生などもできます。

●長時間ディスク/CLV

CLV(Constant Linear Velocity)ディスクとも言い、ディスクの内周と外周では、記録速度が一定となるように、回転数が変化します。(内周:1800回転/分~外周:600回転/分)30cmディスクの場合、片面には最大60分まで記録されます。


トリックプレイ(静止/コマ送り、可変速再生、オートピクチャストップ)はできませんが、チャプターサーチ、タイムナンバーサーチ、リピート再生することができます。

■音声について(* 5)

LDのなかには、音声デジタル音声とアナログ音声の両方で記録され、再生時にそのどちらかを選択できるものがあります。(音声デジタルで記録されているディスクにはジャケットに  マークが記載されています。)

本機はD/A・CXキーで、再生する音声をデジタル音声、アナログ音声のどちらか、選択することができます。

■デジタル音声付きレーザービジョン・マルチオーディオディスクについて

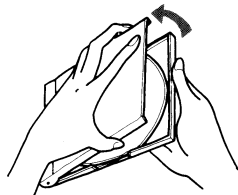
ジャケットやレーベルに  マークの付いたディスクは、デジタル音声、アナログ音声それぞれに異なった内容の音声記録されていて、再生時に音声を選択することができます。詳細は26ページをご参照ください。

ディスクについて

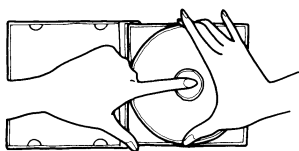
CDシングル、12cmCDV、CDの取り扱い

●ディスクの取り出しかた

1. 右手でケースの両横側面を支え、左手で上下側面を持ってフタを開けます。

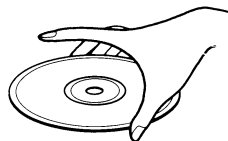


2. 左手の指先でケースのセンターホルダーを押さえ、右手でディスクを持ちあげます。

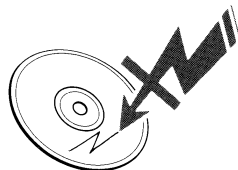


●ディスクの持ちかた

ディスクの両端をはさんで持ちます。



●ディスクに紙やシールを貼り付けたり、キズを付けたりしないでください。

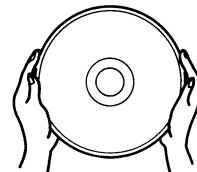


20cm、30cmビデオディスク(LD、CDV)の取り扱い

●ディスクの持ちかた

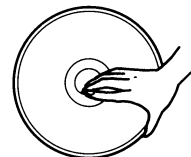
両手で持つ場合

ディスクの両端をはさんで持ちます。



片手で持つ場合

中央の穴と外周部にかけて持ちます。



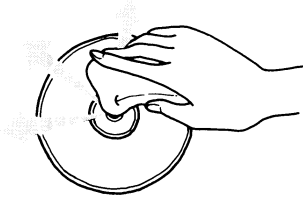
●そりや傷のあるディスクは使わないでください。

ディスクのそりや傷は画質、音質を損ねるばかりでなく、ひどい場合にはセットに損傷を与えたり、寿命を著しく縮めたりすることがありますので、ご使用にならないでください。

もしディスクがそってしまったときは、右項の「2.もしディスクがそったときは」をご参照のうえ、ディスクを矯正してからご使用ください。

ディスクのお手入れについて

より良い画質・音質でお楽しみいただくため、ディスク面についたホコリやゴミ、指紋などは、柔らかい布でふきとってからご使用ください。
汚れがひどい場合は、水にひたしてからよくしぼった柔らかい布でよごれをふきとり、乾いた布でからふきしてください。



みがく時は放射状に

ディスクのクリーニングの際には、ベンジンやレコードクリーナー、静電防止剤などは絶対に使用しないでください。



ご注意

ディスクは熱などにデリケートな素材でできています。
再生後はディスクをディスクトレイに入れたままにしておきますとディスクを傷めることがあります。必ずディスクトレイから取り出し、ジャケットやケースに収め、高温・多湿な場所を避けて保管してください。

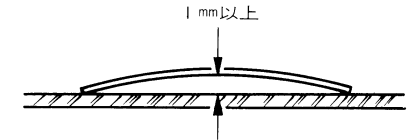
1. ディスクの保管について

そりを防ぐために使用後は、ディスクをトレイから必ず取り出してください。取り出したディスクはジャケットに収め、高温多湿の場所を避けて垂直に保管してください。斜めにしたり、積み重ねて保管しておくとうディスクがそる場合がありますのでご注意ください。また、ディスクに付いている注意書も必ずお読みください。

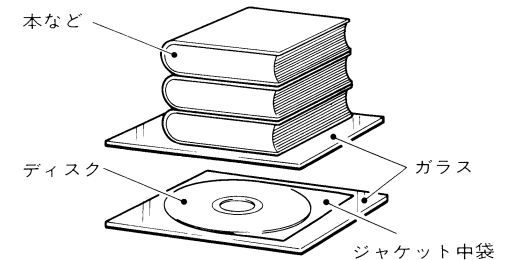
2. もしディスクがそったときには

平らな面(ガラス等)の上にディスクを置いて隙間(目安として1mm以上)ができるディスクはそりが大きすぎます。矯正してからご使用ください。

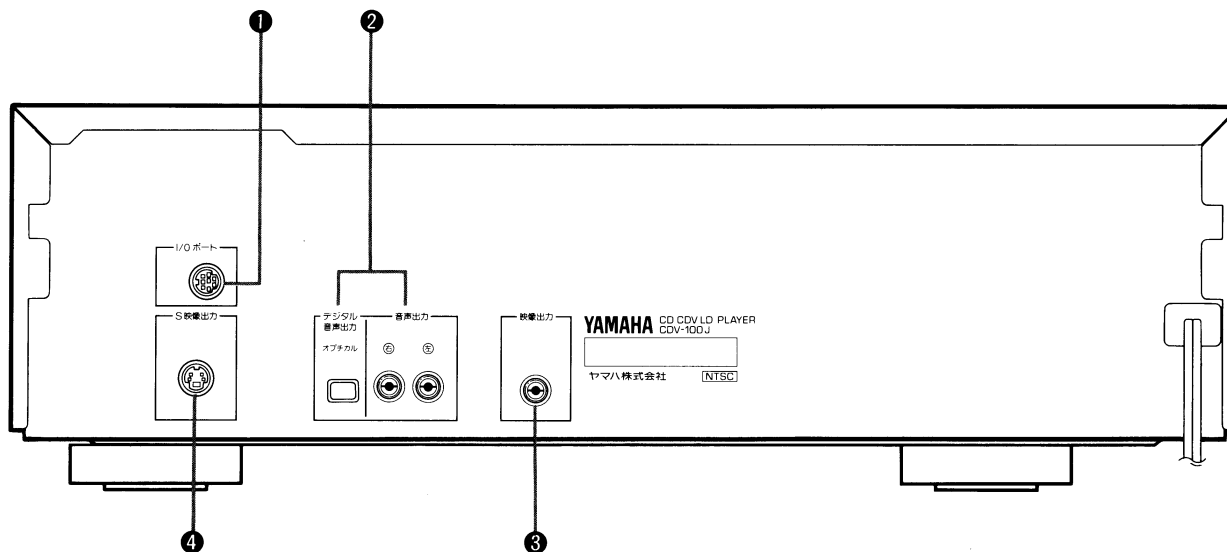
1mm以上の隙間があるディスクは矯正してください。



ディスクが変形してしまった場合には、ディスクを中袋に入れてガラスなど平らな板ではさみ、4~5kgの重しをのせて1日ほどそのままにしておいてください。そりなどが軽減されることがあります。



リアパネル各部の名称とはたらき



① I/Oポート

調整用端子です。ご使用になれません。

② 音声出力端子

音声信号を出力する端子です。再生するディスクにより、各端子に出力される信号は下表のように異なります。

再生ディスク	音声出力端子	デジタル音声出力端子
CD、12cmCDV	デジタル音声ステレオで出力されます。	デジタル音声デジタル伝送されます。
<i>digital SOUND</i> マーク付きの20cm・30cm CDV、LD	デジタル音声またはアナログ音声ステレオで出力されます。 * デジタル音声、アナログ音声の切り換えができます。	デジタル音声またはアナログ音声デジタル伝送されます。 * デジタル音声、アナログ音声の切り換えができます。
<i>digital SOUND</i> マーク無し LD	アナログ音声ステレオで出力されます。	アナログ音声デジタル伝送されます。

③ 映像出力端子

映像信号を出力する端子です。

④ S映像出力端子

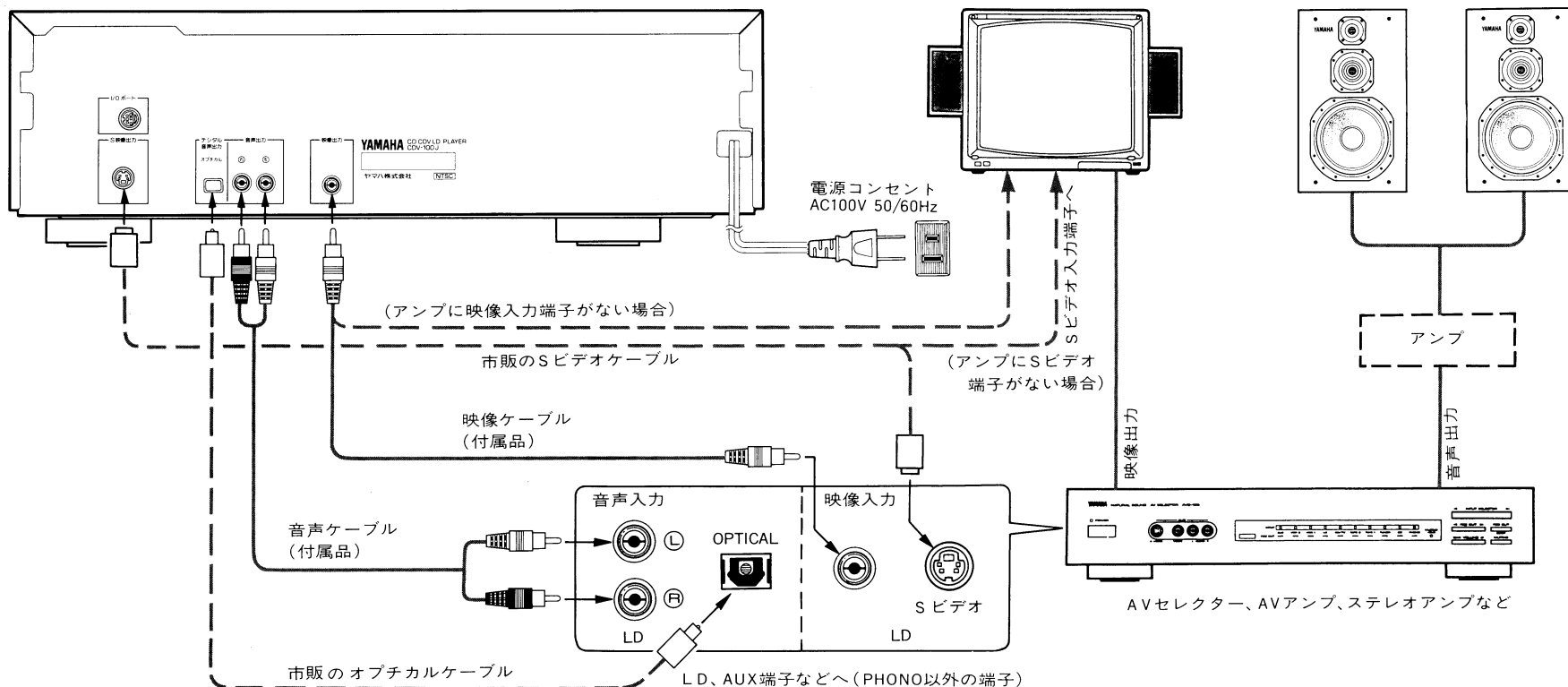
S入力端子を持つモニターテレビやAVアンプにSビデオ信号を出力する端子です。

接続のしかた

接続上のご注意

- 接続する機器によって端子名などが異なります。接続の際は各機器の取扱説明書も合わせてご参照ください。
- 本機および各機器の電源を切ってから接続してください。
- 各機器のL (左チャンネル)、R (右チャンネル) を確認して、正しく接続してください。
- 接続に誤りがないことを確認してから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

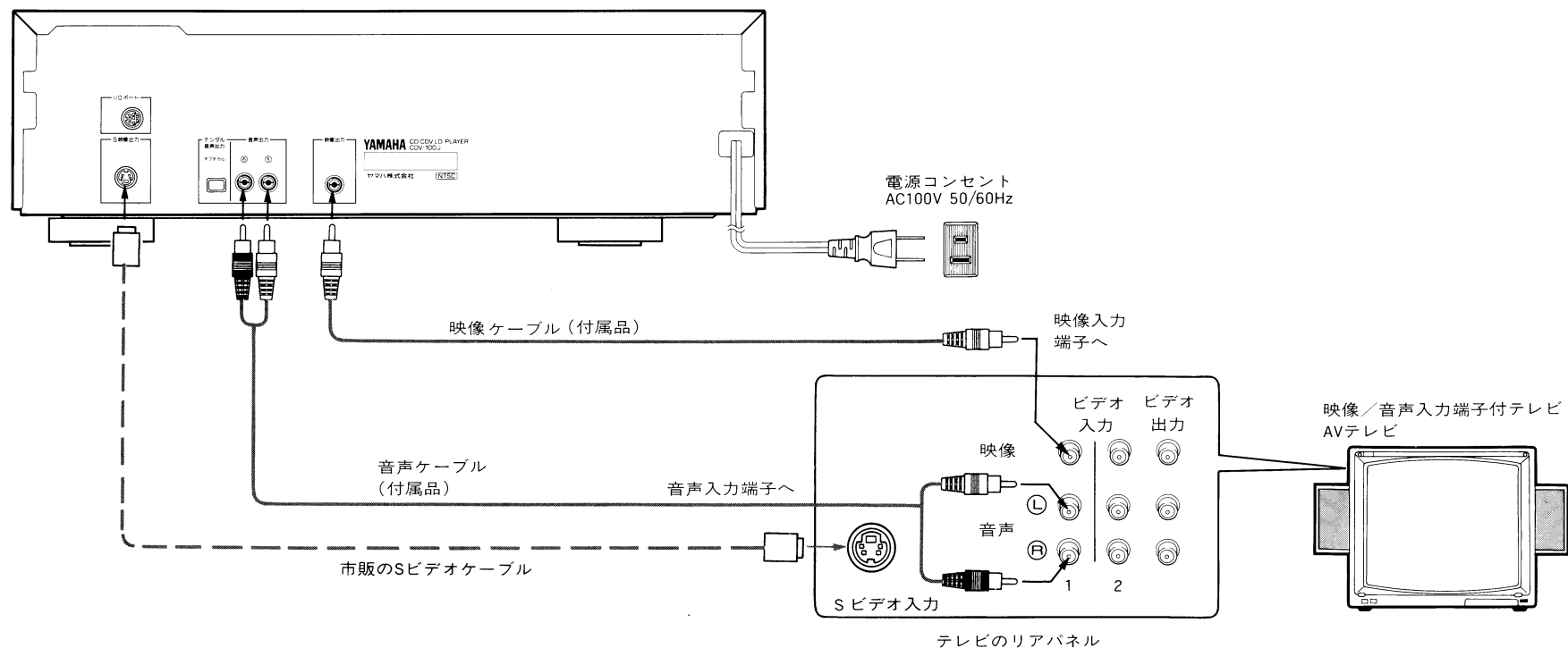
接続例 A AVセレクター、AVアンプ、ステレオアンプをご使用の場合



※本機のデジタル音声出力端子とオプチカル入力端子を持つアンプを、市販のオプチカルケーブルで接続しますと、ディスクのすべての音声(デジタル音声、アナログ音声)がデジタル伝送されます。

※デジタル音声出力端子を使うときは防塵キャップを外してからオプチカルケーブルを接続してください。

接続例 B 映像入力端子および音声入力端子を装備したモニターテレビやAVテレビをご使用の場合



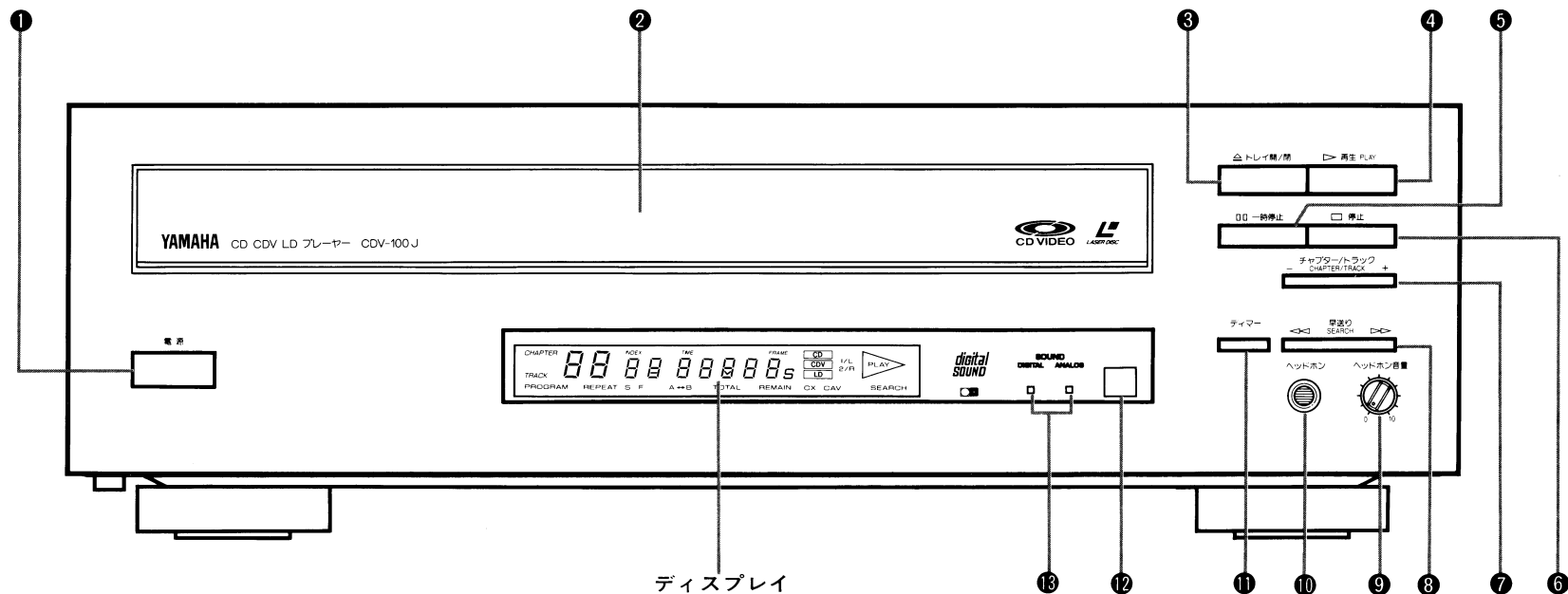
※接続するテレビの取扱説明書をご参照になり、入・出力端子を確認してください。

※音声入力端子のないテレビに接続する場合や、音声をより良い音で再生したい場合は、本機の音声出力L、R端子をステレオアンプのAUX、CDあるいはTAPE PBなど、どれかひとつの端子に接続します。このときPHONO(レコード)端子には接続しないでください。

※本機のデジタル音声出力端子とオプティカル入力端子を持つアンプを、市販のオプティカルケーブルでデジタル接続しますと、ディスクのすべての音声(デジタル音声、アナログ音声)がデジタル伝送されます。

- テレビの放送を見るか、本機を再生するかは、テレビ側で切り換えてください。
- テレビに本機のほかにVTRなどが接続されている場合、どちらかの映像を見るときは、必ず他方の機器の電源を切ってください。

フロントパネル各部の名称とはたらき



ディスプレイ

①電源スイッチ

本機の電源をオン／オフするスイッチです。電源が入りますと各部のインジケータが点灯します。

②ディスクトレイ

ディスクをセットするところです。

③トレイ開／閉キー

ディスクトレイを開閉するキーです。

ディスクをセットしディスクトレイを閉めると、自動的に再生がスタートします。また、再生中に押しますと再生は停止しディスクトレイが開きます。

④再生(PLAY)キー

再生をスタートさせるキーです。

- マルチスピード再生、コマ送り再生中に押しますと、通常の再生に戻ります。

⑤一時停止キー

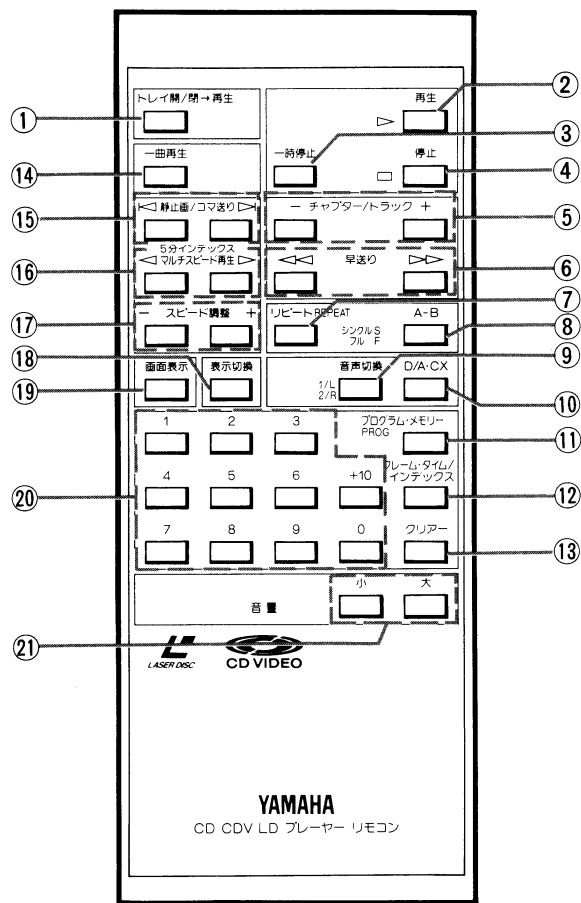
再生を一時停止させるキーです。

⑥停止キー

再生を停止させるキーです。

ディスクトレイが開いているときに再生、一時停止あるいは停止キーを押しますとディスクトレイが閉じ、それぞれのモードになります。

リモコン各部の名称とはたらき



①トレイ開／閉→再生キー

ディスクトレイを開閉するキーです。

ディスクトレイを閉めますと自動的に再生がスタートします。

20cm・30cm CDV LD：ディスクの頭から自動的に再生します。

12cmCDV：ビデオパートから自動的に再生します。

CD：トラック1から自動的に再生します。

②再生キー **LD CDV CD**

再生をスタートさせるキーです。

ディスクトレイが開いているときに押しますと、トレイは自動的に閉まり、再生がスタートします。

●マルチスピード再生あるいはコマ送り再生中に押しますと、通常の再生に戻ります。

③一時停止キー **LD CDV CD**

再生を一時停止させるキーです。一時停止を解除するときは再生キーを押します。

④停止キー **LD CDV CD**

再生を停止させるキーです。

●ディスクトレイが開いているときに一時停止や停止キーを押しますと、ディスクトレイが閉じ、それぞれのモードになります。

⑤チャプター／トラックキー **LD CDV CD**

チャプターまたはトラックの頭出しをするキーです。

＋：再生中に押しますと、次のチャプターまたはトラックの頭出しをして再生しもう一度押しますと、その次のチャプターまたはトラックの頭出しをして再生します。

－：再生中に押しますと、再生中のチャプターまたはトラックの頭出しをして再生し、もう一度押しますと、その前のチャプターまたはトラックの頭出しをして再生します。

- 押し続けると連続的に頭出しを行います。(スキップ機能について→29ページ)
- プログラム再生時は次のプログラムに進めたり、前のプログラムに戻したりすることができます。
- 一時停止中や停止中も頭出しをすることができます。

⑥早送りキー **LD CDV CD**

▷▷ : 再生中に早送りするキーです。

◁◁ : 再生中に早戻しするキーです。

- LD、20cm・30cmCDVおよび12cmCDVのビデオパート再生中は早送り、早戻しをしますと音声を消えます。
- CD、12cmCDVのオーディオパート再生中およびポーズ中に早送り、早戻しをしますと再生音を小さな音で聴くことができます。(早送り・早戻しについて→22ページ)

⑦リピートキー **LD CDV CD**

シングルリピート、フルリピート、プログラムリピートを行うときに、その指定や解除をするキーです。

キーを押すごとに、REPEAT Sリピート→REPEAT Fリピート→REPEAT OFFオフの順に切り換わります。(リピート再生→42ページ)

⑧A-Bキー **LD CDV CD**

A-Bリピート(任意に指定した2点間のリピート)をするときに使います。

(A-Bリピート→43ページ)

⑨音声切換キー **LD CDV CD**

音声をステレオ信号、L、R両チャンネルともL信号(第1原語)、あるいは両チャンネルともR信号(第2原語)に設定するキーです。キーを押すごとに、1/L→2/R→1/L、2/Rの順に切り換わります。(音声切換について→25ページ)

- 電源を入れたときには1/L、2/R(ステレオ)に設定されています。

⑩D/A・CX キー

20cm・30cm CDV LD : ディスクのなかにはデジタル音声とアナログ音声の双方で音声記録され、再生時には音声を選択できるものがあります。その選択をするキーです。

また、シーエックスノイズリダクション **CX NR** をマニュアルでON/OFFするディスクの場合には、このキーでONにします。(音声切換について→25ページ、CX NRについて→25ページ)

12cm CDV CD : このキーは機能しません。

⑪プログラム(Prog)・メモリーキー **LD CDV CD**

再生したいチャプターまたはトラックを任意の順番で再生するとき、そのセットや確認を行うキーです。(プログラム再生→36ページ)またメモリー再生するときにも使います。(メモリー再生→38ページ)

⑫フレーム・タイム/インデックスキー **LD CDV CD**

CAV/標準ディスクの再生時にフレームナンバーサーチを行うとき、またCLV/長時間ディスク再生時にタイムナンバーサーチを行うときに使います。(フレームナンバーサーチ→32ページ、タイムナンバーサーチ→33ページ)

またインデックス再生(インデックスサーチ→35ページ)を行なうときに使います。

⑬クリアーキー **LD CDV CD**

指定したフレームナンバー、タイムナンバー、プログラム曲番やモードをクリアーするキーです。

⑭一曲再生キー **LD CDV CD**

このキーを押して再生を開始したり、再生中にこのキーを押しますと、再生中のチャプターまたはトラックを再生後は一時停止状態になります。

リモコン各部の名称とはたらき

⑮ 静止画/コマ送りキー

20cm・30cm CDV LD :

▷ : CAV/標準ディスクを再生中に、正方向に静止画/コマ送り再生を行うキーです。

一回押しますと画面は静止し、その後は押すたびにコマずつ送られます。

◁ : CAV/標準ディスクを再生中に、逆方向に静止画/コマ送り再生を行うキーです。

一回押しますと画面は静止し、その後は押すたびにコマずつ送られます。(静止画・コマ送り再生→41ページ)

- 押し続けた場合は0.3秒ごとにコマ送り再生が行われます。
- 静止画/コマ送り再生中は音声は消えます。
- CLV/長時間ディスクでは静止画・コマ送り再生はできません。

CDV CD : このキーは機能できません。

⑯ マルチスピード再生キー、5分インデックスキー

20cm・30cm CDV LD :

CAV/標準ディスク

マルチスピード再生をすることができます。

▷ : スピード調整キーで選んだスピードで正方向に再生します。

◁ : スピード調整キーで選んだスピードで逆方向に再生します。

- マルチスピード再生時は音声は消えます。
- CLV/長時間ディスクではマルチスピード再生はできません。

CLV/長時間ディスク

ディスクの頭から5分間隔にインデックスを自動的に割付けますので、5分インデックスサーチ(頭出し)ができます。(5分インデックスサーチ→34ページ)

▷ : キーを押したところから正方向に5分インデックスサーチをします。

◁ : キーを押したところから逆方向に5分インデックスサーチをします。

- 再生中は現在再生している一番近いインデックスから頭出しをします。

12cm CDV CD : このキーは機能しません。

⑰ スピード調整キー

20cm・30cm CDV LD : CAV/標準ディスクでマルチスピード再生(→40ページ)をするときに、再生スピード(10段階)を選択するキーです。+キーを押しますと再生スピードが早くなり、-キーを押しますと遅くなります。

画面表示	* 12	* 3
速度	12倍速	3倍速

12cm CDV CD : このキーは機能しません。

⑱ 表示切換キー

LD : このキーは機能しません。

20cm・30cm CDV : 再生または一時停止中にこのキーを押しますとキーを押すごとにフレームナンバー(タイムナンバー)→トラックタイム(TIME:再生中のトラックの頭からの経過時間)→トータルタイム(TOTAL:ディスクの頭からの経過時間)→リメインタイム(REMAIN:ディスクの演奏残り時間)の順に表示が切り変わります。

12cm CDV : 再生または一時停止中にこのキーを押しますとキーを押すごとにトラックタイム(TIME:再生中のトラックの頭からの経過時間)→トータルタイム(TOTAL:オーディオパートあるいはビデオパートの頭からの経過時間)→リメインタイム(REMAIN:ビデオパートあるいはオーディオパートの演奏残り時間)の順に表示が切り変わります。

CD : 再生または一時停止中にこのキーを押しますとキーを押すごとにトラックタイム(TIME:再生中のトラックの頭からの経過時間)→トータルタイム(TOTAL:ディスクの頭からの経過時間)→リメインタイム(REMAIN:ディスクの演奏残り時間)の順に表示が切り変わります。

⑲ 画面表示キー

20cm・30cm CDV LD : CAV/標準ディスクを再生中にキーを押しますと画面にチャプターナンバーとフレームナンバーが表示されます。CLV/長時間ディスクを再生中にキーを押しますと、チャプターナンバーとタイムナンバーが表示されます。

※ディスクによっては、チャプターナンバーの表示されないものがあります。

12cmCDV：ビデオパート再生時はトラックナンバー、インデックスナンバー、トラックタイムを表示します。またオーディオパート再生時は、このキーは機能しません。

CD：このキーは機能しません。

⑩テンキー（1～0、+10数字キー） **LD CDV CD**

チャプターナンバー、フレームナンバー、タイムナンバーおよびトラックナンバー、インデックスおよびプログラム曲番などを指定するキーです。

■+10キーの使いかた

- ・+10キーは押すごとに、10の位を1□、2□、…8□、9□、0□の順番に表示します。
例えば、15を指定するときは…+10キー、5キーを押します。
46では+10、+10、+10、+10キー、6キーを押します。
- ・+10キーを押し、1の位を4秒以内に入力しめないと、自動的に1の位を0として働きます。
- ・+10キーでフレームナンバーや、タイムナンバーを指定することはできません。

⑪音量キー

本機の音声出力の出力レベル（音量）を調整します。

大キーを押すと音量が大きくなり、小キーを押すと小さくなります。

- 音量の調整状態は本体のディスプレイに表示されます。

-15 ←————→ -00
(音量最小) (音量最大)

- 電源を入れたときは-00（音量最大）が表示されます。
- デジタル音声出力端子の出力レベルは調整できません。

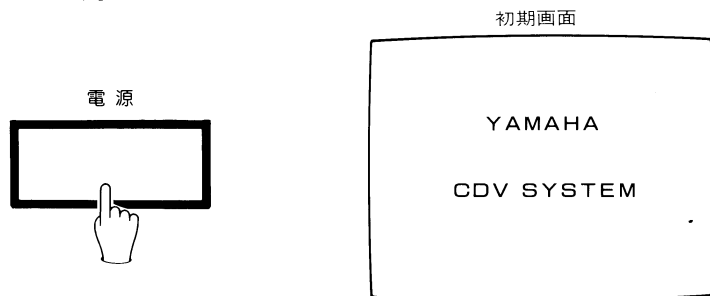
メモ

本取扱説明書はリモコンによる操作を中心に説明しておりますが、同一名称のキーは、本体あるいはリモコンのキーのいずれをお使いにな리ましても、同じ操作をすることができます。

再生のしかた 基本操作 **LD CDV CD**

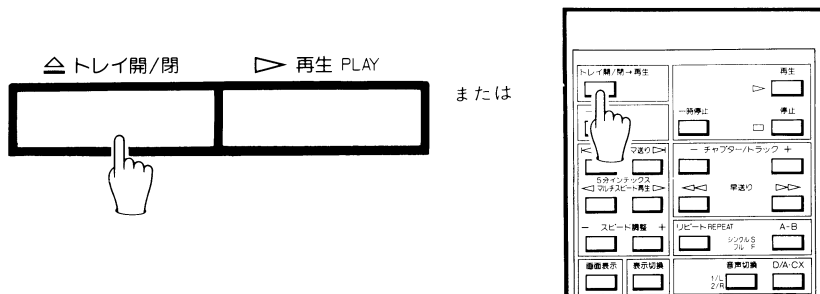
1 本機および接続した各機器の電源を入れます。

*CDV、LDを再生するときは、接続したテレビを本機の再生ができるようにセットします。

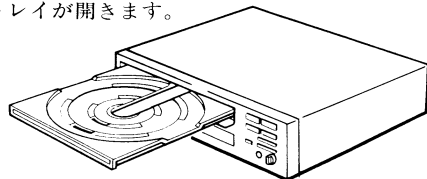


2 ディスクトレイを開けます。

本体またはリモコンのトレイ開/閉キーを押します。



●ディスクトレイが開きます。



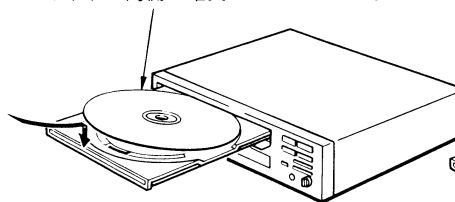
3 ディスクをセットします。

20cm・30cm CDV LD

:再生したいレーベル面を上にしてセットしてください。

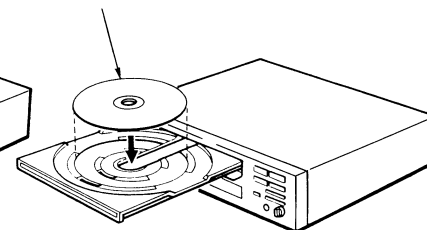
●30cmディスクの場合

見たいレーベル面を上にして30cmのガイドの内側に確実にセットします。



●20cmディスクの場合

見たいレーベル面を上にして20cmのガイドの内側に確実にセットします。

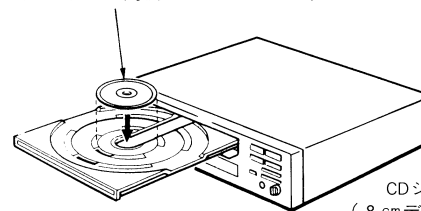


●片面ディスクで裏面が不透明なアクリル樹脂製のものを再生する場合、レーベル面(アクリル樹脂側)を上向きに、キラキラ光る側の面を下向きにセットしてください。逆向きにセットすると故障の原因となります。

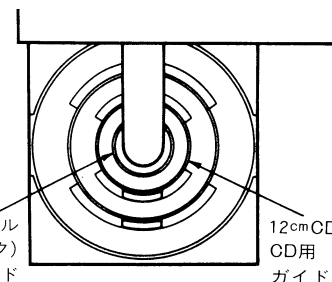
12cm CDV 8cm・12cm CD

:12cm CDVおよびCDの信号は片面だけに記録されています。レーベル面を上にしてセットしてください。

レーベル面を上にして各々のディスクガイドの内側にセットします。



CDシングル
(8cmディスク)
用ガイド



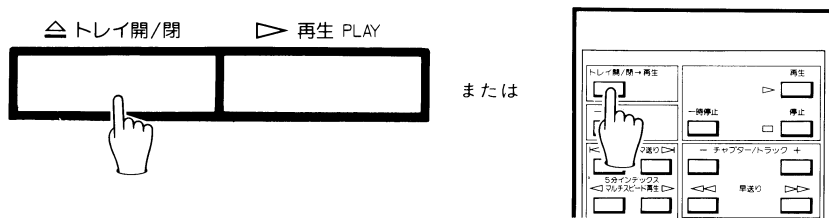
ディスクトレイのガイドにディスクのふちを合わせて確実にセットします。誤ってずれたままトレイを閉めた場合には、速やかにトレイを開き、セットし直してください。ずれたまま動作させますとディスクを傷つけるだけでなく、本体の故障の原因となる場合があります。

4 ディスクトレイを開めると再生が始まります。
 本体またはリモコンのトレイ開/閉キーあるいは再生キーを押します。
 *ディスクトレイは手で軽く押しでも閉めることができます。

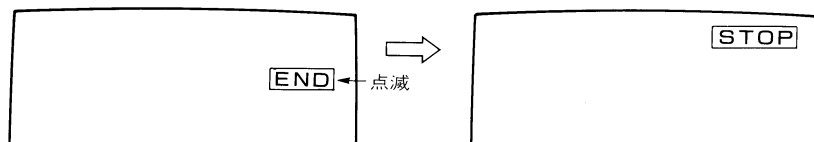
20cm・30cm CDV LD : ディスクの頭から再生がスタートします。

12cm CDV : ビデオパートから再生がスタートします。

CD : トラック1 (1曲目) から再生がスタートします。



5 ディスクの再生が終了しますと、ディスクの頭に戻って自動的に停止します。

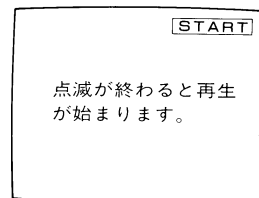


●12cmCDVはビデオパートの再生が終了しますと、自動的にオーディオパートのトラック1の再生に移り、オーディオパートの再生がすべて終了しますと停止します。

異なる種類のディスク (例えばLDからCD) を続けて演奏をしますと、後から演奏するディスクの情報を本機が読みこむまでは、前のディスクの表示 (例えばCHAPTERあるいはTRACKなど) をしています。

■スタート時の表示について

20cm・30cm CDV LD

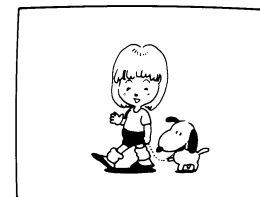


ディスクの情報が画面表示されます。(GAV、CLV、SIDE-A、SEARCHなど)



(再生が始まるまで多少時間がかかります。)

再生

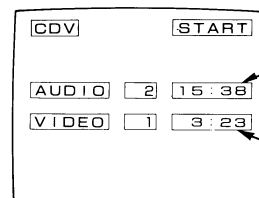


12cm CDV

オーディオパートの総曲数、総演奏時間、ビデオパートの総曲数、総演奏時間が表示されます。

(例) オーディオパート2曲、総再生時間15分38秒

ビデオパート1曲、再生時間3分23秒のディスクをセットしますと

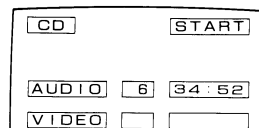


オーディオパート
ビデオパート

ビデオパート再生時



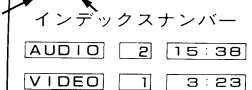
CD



オーディオパート再生時

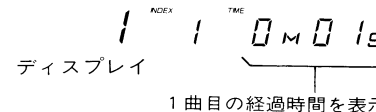
トラックタイム

トラックナンバー



CD再生時にも画面にはCDの総曲数、総演奏時間、演奏状態が表示されます。

(CD再生時はビデオパート表示は空欄です)



12cmCDVは自動的にビデオパートから再生がスタートしますので、再生開始時はビデオパートのトラックナンバーを表示します。

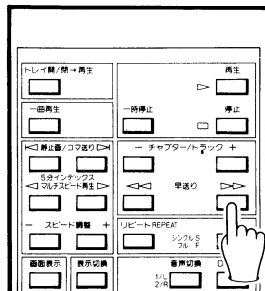
再生のしかた

■早送り・早戻しについて

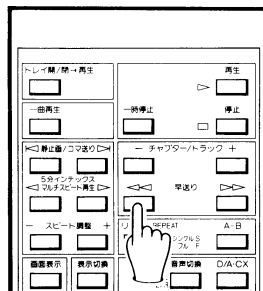
本体またはリモコンの早送りキーを使いますと、再生を早送りすることができます。

▷ キーを押しますと早送り、◁ キーを押しますと早戻しになります。押し始めの3秒間は中速で、その後は高速で早送り（早戻し）再生になります。

●早送り



●早戻し



*一時停止中にも早送り、早戻しはできますが、停止中はできません。

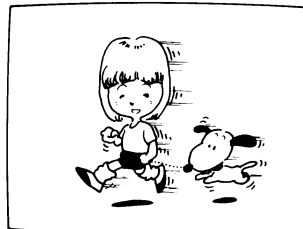
20cm・30cm CDV LD

キーを押している間だけ早送り・早戻しの画像が見られますが、そのとき音声は消えます。

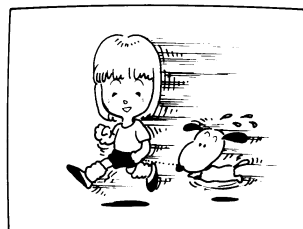
*CLV / 長時間ディスクでは画像が乱れることがあります。

●早送り

最初の3秒間中速

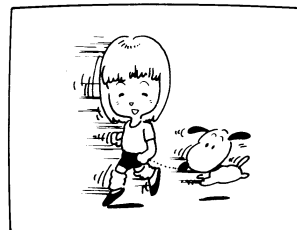


3秒経過後高速

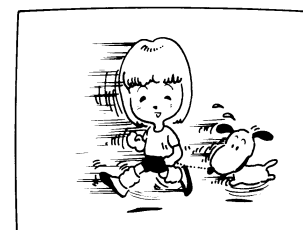


●早戻し

最初の3秒間中速



3秒経過後高速



12cm CDV

●ビデオパートを再生中やポーズ中は

キーを押し続け、再生したいところになりましたらキーから指を離します。

その位置から再生または一時停止になります。

*ビデオパートを再生中に早送りまたは早戻しを行いますと音声は消えます。また画像が乱れることがあります。

●オーディオパートを再生中やポーズ中は

早送りまたは早戻しをしている間は再生音が小さな音で聴こえますので、聴きたいところになりましたらキーから指を離します。

その位置から再生または一時停止になります。

CD

早送りまたは早戻しをしている間は再生音が小さな音で聴こえますので、聴きたいところになりましたらキーから指を離します。

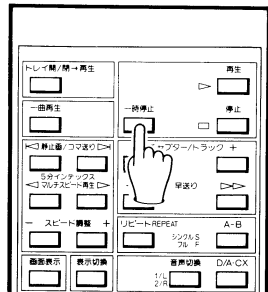
その位置から再生または一時停止になります。

■再生を一時止めるには

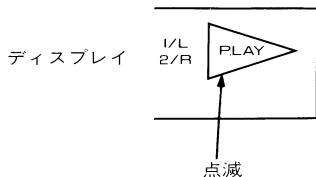
本体またはリモコンの一時停止キーを押します。

ポーズ中は“PLAY”インジケータが点滅します。

音声または映像は、その位置で一時停止します。(ディスクは回転を続けています。)



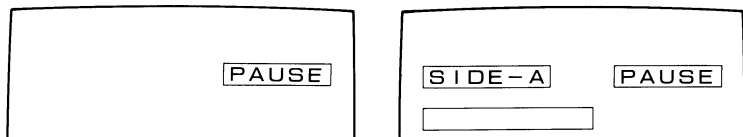
ポーズ中は“PLAY”インジケータが点滅します。



20cm・30cm CDV LD(CAV/標準ディスク)

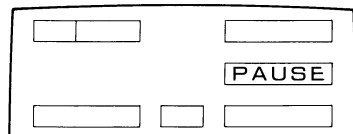
一時停止キーを押したときの画面が静止画で再生されます。

20cm・30cm CDV LD(CLV/長時間ディスク)



または 画面に PAUSE が表示されます。

12cm CDV CD



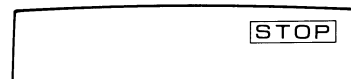
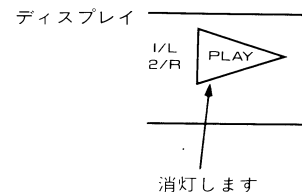
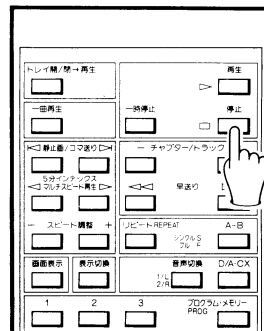
* 再生を再開するときは再生キーを押します。

■再生を止めるには

本体またはリモコンの停止キーを押します。

ディスクは回転を停止します。

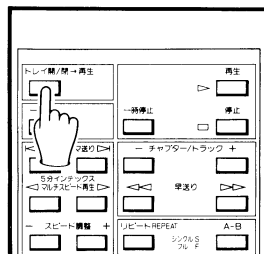
再生キーを押しますとディスクの頭から再生がスタートします。(12cm CDVはビデオパートの頭から再生がスタートします。)



■ディスクの取り出ししかた

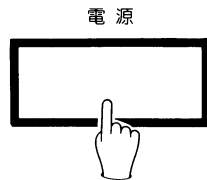
本体またはリモコンのトレイ開/閉キーを押します。

ディスクトレイが完全に開いてから、ディスクを取り出します。



再生を終えるときは

ディスクトレイ内にディスクが無いことを確認してからディスクトレイを閉め、本体のディスプレイのディスクインジケータ（LD CDV CD）が消灯してから本体の電源スイッチを押して電源を切ります。

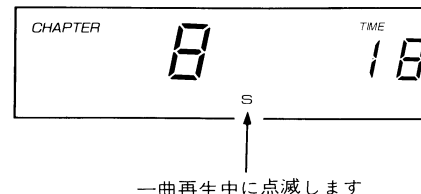
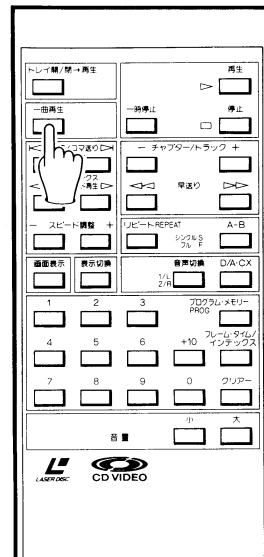


ご注意

- 再生中は本機を動かさないでください。再生中、ディスクは高速で回転しています。このとき本機を持ち上げたり、動かしたりしますとディスクを傷つける恐れがあります。本機を移動などするときは必ず再生を止め、ディスクを取り出してください。
- ディスクトレイに再生するディスク以外の物を入れないでください。故障の原因となります。
- ディスクトレイは手で無理に開閉しないでください。
- 本機をご使用にならないときは、ゴミやホコリを避けるためにディスクトレイは閉めておいてください。
- 一度にセットできるディスクは1枚です。LDとCDVやCDを重ねてセットしますと、ディスクを傷付けたり、本機の故障の原因ともなりますので絶対におやめください。またディスクトレイにはディスク以外のものをセットしないでください。
- 引き出したままのディスクトレイに強い力（特に上下方向）を加えますと本機の故障の原因となります。また本機が落下する危険もあります。
- ディスクトレイを開けたままで電源を切らないでください。

カラオケディスクなどを再生するときは、停止中または再生中に一曲再生キーを押しますと、そのチャプターまたはトラックの再生終了後は自動的に一時停止状態となります。

- 一曲再生を解除するときは再生キーを押します。
- チャプターナンバーの記録されていないディスクでは一曲再生できません。
- 一曲再生中はディスプレイの“S”インジケータが点滅します。



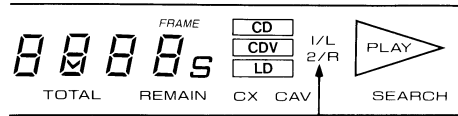
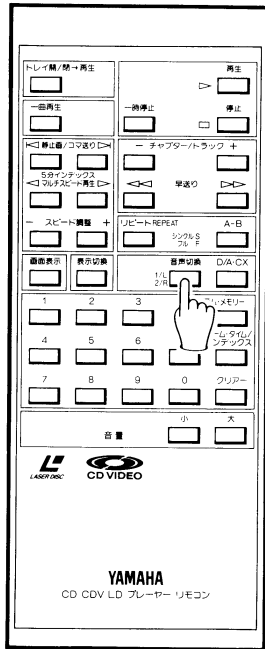
ピクチャーストップについて LD

ピクチャーストップコードが記録されているディスクを再生しますと、コードで指定されているフレーム（画面）まで再生されますと、自動的に静止画となります。その場合は、再生キーや静止画/コマ送りキーを使って、画面を次のステップへ進めたり、前のステップに戻すことができます。

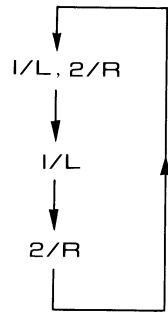
*ピクチャーストップについてはディスクの解説書をご参照ください。

音声切換について **LD CDV CD**

本機は電源を入れたときはステレオモード(1/Lと2/Rのインジケーターが点灯)に設定されていますが、リモコンの音声切換キーを押すごとに1/L→2/R→1/L, 2/R(ステレオ)→の順に切り換わります。音声多重ディスクやバイリンガルディスクを再生するときなど、必要に応じて切り換えてください。





ステレオで再生するときは両方のインジケーターを点灯させます。



- ディスクトレイを開閉しますと選択したモードはキャンセルされ、自動的にステレオモードに戻ります。

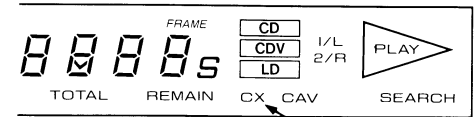
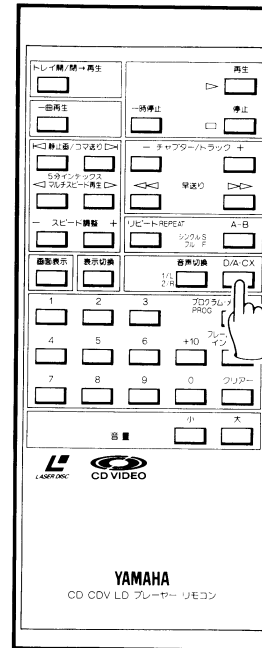
CX NRについて **20cm・30cm CDV LD**

20cm・30cm CDVやLDのなかには  マークの記載されたものがあります。このマークはCX NR (CXノイズリダクション) を使って音声記録されていることを示しています。CX NRはS/N比を向上させ、ダイナミックレンジを拡大しますので、雑音の少ない迫力ある再生音を生み出します。(ジャケットの  マークをご確認ください。)


本機はCX NRディスクを再生しますとそれを検出し、自動的にCX NRシステムが働き、CXインジケーターが点灯します。

また一部ディスクにはCX NR自動検出コードを持っていないディスクがあります。そのようなディスクを再生する場合は、D/A・CXキーを押して本機のCX NRシステムをONにしてください。

- CX NRが自動的に検出されるディスクは、CX NRをON/OFFすることはできません。



点灯させます

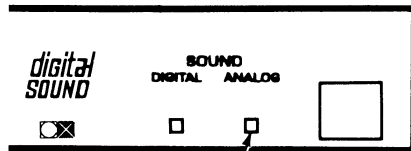
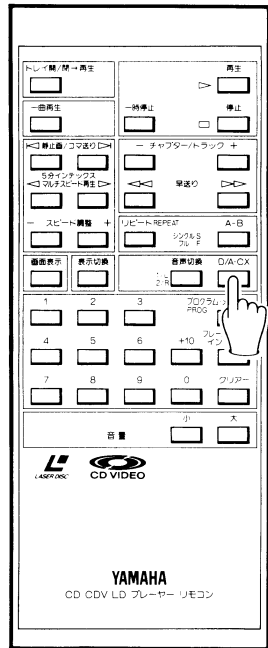
*  はCBSの登録商標です。

デジタル/アナログ音声切換について **20cm・30cm CDV LD**

20cm・30cm CDVやLDのなかには、音声デジタルとアナログの両方で記録され、再生時にそのどちらかを選択できるものがあります。（ディスクのジャケットの記載をご確認ください）

本機は、デジタル音声で記録されているディスクを再生しますと、自動的にデジタル音声を選択して再生（SOUNDインジケータのDIGITALが点灯）します。アナログ音声を選択するときはD/A・CXキーを押してANALOGインジケータを点灯させてください。

アナログ音声のみのディスクは自動的にANALOGインジケータが点灯します。



アナログ音声で再生するときはこのインジケータを点灯させます

■デジタル音声付きレーザービジョン・マルチオーディオディスクの再生

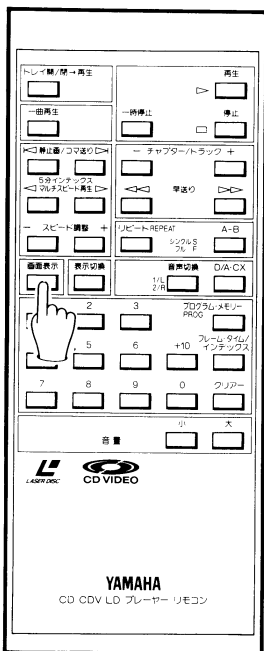
digital SOUND MULTI AUDIO マークが記載されているデジタル音声付きレーザービジョン・マルチオーディオディスクはデジタル音声とアナログ音声それぞれに異なる内容が記録されています。再生時は音声切換キーとD/A・CXキーの操作を組み合わせ、ご希望の音声を選択してください。

	デジタル音声	アナログ音声
映画、アニメなど	本編の音声 (作品の音声)	サウンドトラック (音楽)
デュアルミュージック	ミュージック 1	ミュージック 2
ステレオ音声多重 カラオケ	カラオケ	アシスタント ボーカル
バイリンガル (二ヶ国)	日本語	英語などの外国語
トライリンガル (三ヶ国)	日本語	1L：英語などの外国語 2R：(ドイツ語)第2外国語
クワドリンガル (四ヶ国)	1L：日本語 2R：英語などの外国語	1L：(ドイツ語)第3外国語 2R：(フランス語)第4外国語

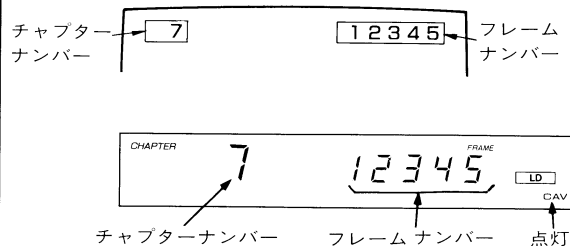
※ディスクのなかにはアナログ音声のみで記録されたバイリンガルディスクもあります。

画面表示について **20cm・30cm CDV LD**

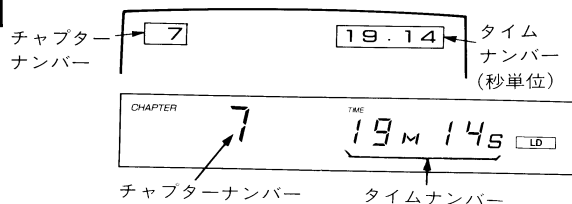
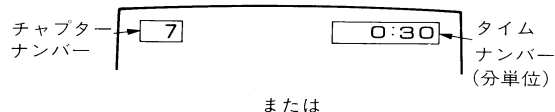
再生中に画面表示キーを押しますと、チャプター、フレームまたはタイムナンバーが表示され、もう一度押しますと表示が消えます。



CAV/標準ディスクの場合、チャプターとフレームナンバーが表示されます。



CLV/長時間ディスクの場合、チャプターとタイムナンバーが表示されます。



- 20cm・30cm CDVおよび12cm CDVのビデオパート再生中に画面表示キーを押しますと、トラックナンバー、インデックスナンバー、タイムナンバー（トラックタイム）が表示されます。

●ディスプレイオフ機能について

ディスクトレイが開いているときに画面表示キーを押しますと、ディスプレイオフ機能が働き、それ以降の本機の操作状況の画面表示（OPEN, CLOSE, SEARCHなど自動的に表示されるものを含め）をさせなくすることができます。

この機能を解除するときは、ディスクトレイが開いているときに再度画面表示キーを押してください。また一度電源が切れますとディスプレイオフ機能は解除されません。

- ディスプレイオフにしているときにポーズさせますと、画面には何も表示されませんので、ご注意ください。

メモ

LDや20cm・30cm CDVディスクには映像・音声と同時に、チャプターナンバー、フレーム(タイム)ナンバーが記録されています。

※20cm・30cm CDVにはインデックスナンバーが記録されているものがあります。

チャプターナンバー(CAV/標準ディスク・CLV/長時間ディスク)

ディスクプログラムの区切りを示します。書物における“章”番号に相当します。

※ディスクのなかにはチャプターナンバーの記録されていないものもあります。

フレームナンバー(CAV/標準ディスク)

ディスクプログラムのはじめから、1つ1つの画面に連続して付けられている番号です。書物における“ページ”に相当します。

タイムナンバー(CLV/長時間ディスク)

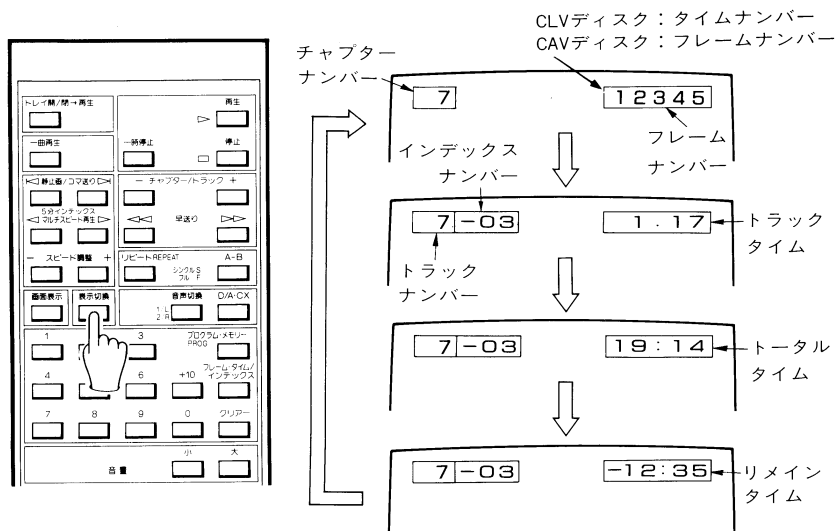
ディスクのはじめからプレイモードで再生した場合の経過時間の表示です。

ディスクによって分単位のもの秒単位のものがあります。

表示切換について **CDV CD**

20cm・30cm CDV

画面表示中に表示切換キーを押しますと、キーを押すごとにディスプレイおよび画面表示が下のようになり切り換わります。



トラックタイム (TIME) = 再生中のトラックの頭からの経過時間

トータルタイム (TOTAL TIME) = ディスクの頭からの経過時間

リメインタイム (REMAIN TIME) = ディスクの演奏残り時間

12cm CDV

「ビデオパートの再生またはポーズ時」

表示切換キーを押しますと、画面およびディスプレイ表示をトラックタイム→トータルタイム→リメインタイムの順に切り換えることができます。

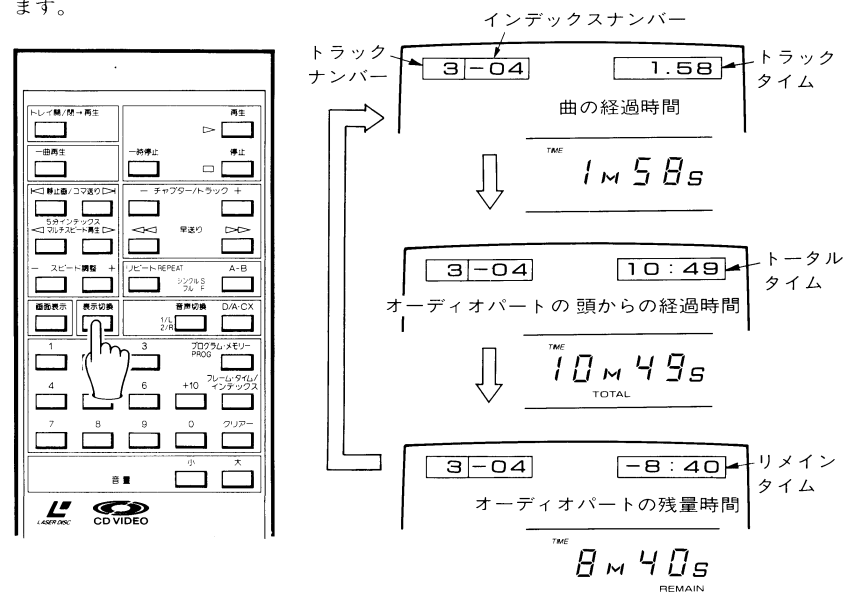
トラックタイム (TIME) = 再生中のトラックの頭からの経過時間

トータルタイム (TOTAL TIME) = ビデオパートの頭からの経過時間

リメインタイム (REMAIN TIME) = ビデオパートの演奏残り時間

「オーディオパートの再生またはポーズ時」

表示切換キーを押しますと、ディスプレイおよび画面表示が下のようになり切り換わります。



トラックタイム (TIME) = 再生中のトラックの頭からの経過時間

トータルタイム (TOTAL TIME) = オーディオパートの頭からの経過時間

リメインタイム (REMAIN TIME) = オーディオパートの演奏残り時間

CD

画面表示キーを押しますと、CDVのオーディオパート再生または一時停止時と同様にディスプレイおよび画面表示が変わります。

- 操作のしかたは、12cm CDVの「オーディオパート再生時」の項をご参照ください。
- 画面表示キーを押して、画面に表示させていないときや、ディスプレイオフ機能が働いているときは、画面表示されません。
- LD再生時はタイムモードキーは働きません。

スキップ機能について

20cm・30cm CDV LD

頭出しの方法にはチャプタースキップとチャプターサーチの2種類があります。前後のチャプターの頭出しにはチャプタースキップを使い、任意のチャプターの頭出しにはチャプターサーチを使うと便利です。

- スキップおよびサーチ中は画像と音声は消えます。
- 20cm・30cm CDV** でチャプタースキップをするときは、表示切換キーを押してチャプター表示にします。

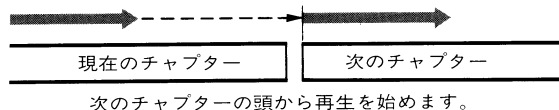
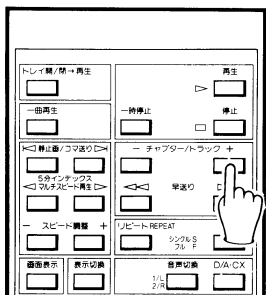
■チャプタースキップ

次のチャプターの頭まで飛んで(スキップ)再生を開始したり、現在再生中のチャプターの頭に戻って再生を始めることができます。

■次のチャプターの頭にスキップするときは、“+”キーを押します。

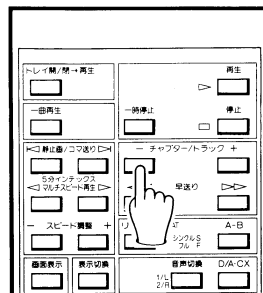
繰り返して押しますと、押した回数だけスキップします。

ディスクに記録されているチャプターナンバー以上にスキップしようと“END”表示後ストップ状態になります。

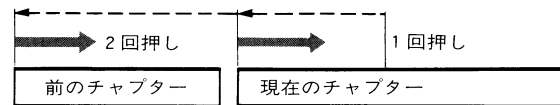


■再生中のチャプターの頭に戻って再生する場合は“-”キーを押します。

一回押しますと、そのチャプターの頭に戻り、もう一度押しますと一つ前のチャプターの頭に戻り再生を開始します。



“2”キーを2回押します。
(1回押すと現在再生中のチャプターの頭に戻ります。)



- 一時停止中や停止中もチャプタースキップをすることができます。
- 繰り返して押しますと、前の前のチャプターへスキップすることができます。
- プログラム再生中にキーを押しますと、プログラムされた次(または前)のチャプターにスキップします。
- チャプターの記録されていないディスクではチャプタースキップできません。

CDV CD

頭出しの方法にはトラックスキップとトラックサーチの2種類があります。前後のトラック(曲)の頭出しにはトラックスキップを使い、任意のトラックの頭出しにはトラックサーチを使うと便利です。

- ビデオパートを再生中に頭出し操作を行いますと、映像と音声は消えます。
- 20cm・30cm CDV** でトラックスキップをするときは、表示切換キーを押してトラック表示にします。

■トラックスキップ

次のトラックの頭まで飛んで(スキップ)再生を開始したり、現在再生中のトラックの頭に戻って再生を始めることができます。

■次のトラックの頭にスキップするときは、“+”キーを押します。

繰り返して押しますと、押した回数だけスキップします。

サーチ機能について

20cm・30cm CDV LD

頭出しの方法にはチャプタースキップとチャプターサーチの2種類があります。前後のチャプターの頭出しにはチャプタースキップを使い、任意のチャプターの頭出しにはチャプターサーチを使うと便利です。

- スキップおよびサーチ中は画像と音声は消えます。
- 20cm・30cm CDV** でチャプターサーチをするときは、表示切換キーを押してチャプター表示にします。

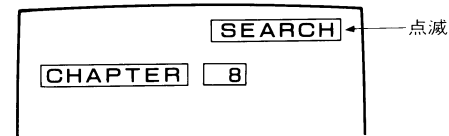
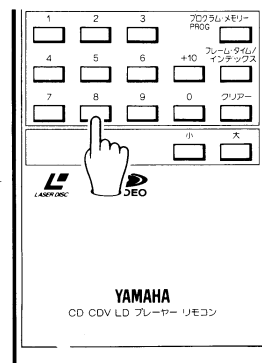
■チャプターサーチ

1 テン(1~0, +10)キーで頭出しをするチャプターを指定します。

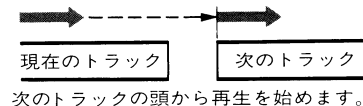
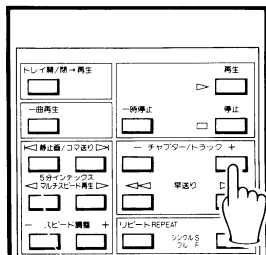
選択されたチャプターの頭から再生がスタートします。

(例) チャプター8をサーチするには

リモコンのテンキー“8”を押しますと、自動的にチャプター8のサーチを開始します。



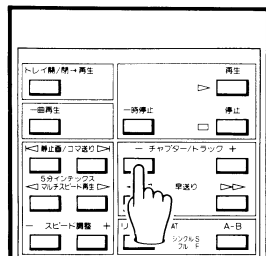
- 一時停止状態でチャプターサーチをしますと、指定したチャプターの頭で一時停止状態になります。
- CAV/標準ディスクの場合、サーチ中にマルチスピード再生キーや静止画・コマ送りキーを押しますと、サーチ後はそのモードで再生されます。
- ディスクに記録されているチャプターナンバー以上の数を指定しますと、サーチ後は“END”を表示し、ストップ状態になります。



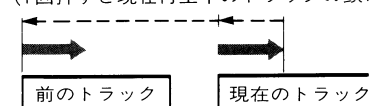
次のトラックの頭から再生を始めます。

- 再生中にディスクの最後のトラックまでスキップしますと、それ以上のトラックスキップは受け付けず、最後のトラックが再生されます。
- 一時停止中や停止時もトラックスキップすることができます。
- ディスクトレイが開いているときなど、ディスクの情報が読み込まれるまえに、ディスクに収録されている以上のトラックナンバーを指定し再生しますと、“END”表示後にストップ状態になります。

- 再生中のトラックの頭に戻って再生する場合は、“-”キーを押します。一回押しますと、その曲の頭に戻り、もう一度押しますと一つ前のトラックの頭に戻ります。



“-”キーを2回押します。
(1回押すと現在再生中のトラックの頭に戻ります。)



前のトラックの頭から再生を始めます。

- 繰り返して押しますと、押すごとに前のトラックへスキップすることができます。ディスクの頭までスキップしますと、それ以上は受け付けず最初のトラックの再生が始まります。
- プログラム再生中にキーを押しますと、プログラムされた次(または前)のトラックにスキップします。

CDV

頭出しの方法にはトラックスキップとトラックサーチの2種類があります。前後のトラック(曲)の頭出しにはトラックスキップを使い、任意のトラックの頭出しにはトラックサーチを使うと便利です。

- **20cm・30cm CDV** でトラックサーチをするときは、表示切換キーを押してトラックタイム表示にします。

CD

頭出しの方法にはトラックスキップとトラックサーチの2種類があります。前後のトラック(曲)の頭出しにはトラックスキップを使い、任意のトラックの頭出しにはトラックサーチを使うと便利です。

- トラックサーチの方法はCDVと同様です。CDVの項をご参照ください。
- ディスクに記録されているトラック以上の数を指定しますと、サーチ後“END”を表示し停止状態になります。

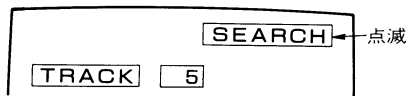
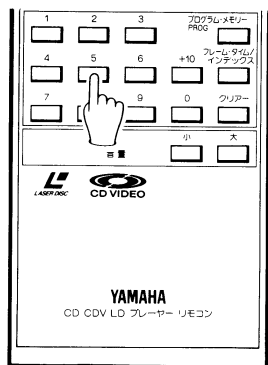
■トラックサーチ

1 テン(1~0, +10)キーで頭出しをするトラックを指定します。

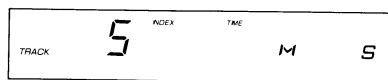
選択されたトラックの頭から再生がスタートします。

- ディスクに記録されているトラック以上の数を指定しますと、サーチ後は“VIDEO END”を表示し、ストップ状態になります。12cm CDVは“VIDEO END”表示後にオーディオパートの再生に移ります。

(例) **トラック5を再生するには**



リモコンのテンキー“5”を押しますと、自動的にトラック5のサーチを開始します。



- 一時停止中にトラックサーチをしますと、指定したトラックの頭で一時停止状態になります。

フレームナンバーサーチ/タイムナンバーサーチ/5分インデックスサーチ

LD, 20cm・30cm CDVではフレームナンバーまたはタイムナンバーを利用して目的の映像を呼び出すことができます。

■フレームナンバーサーチ

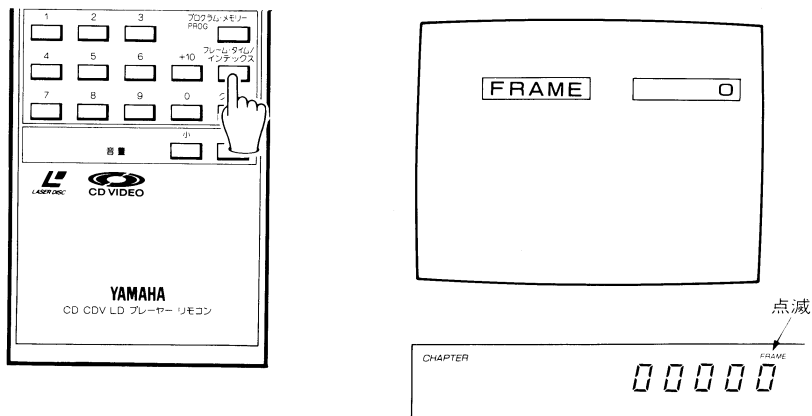
20cm・30cm CDV LD(CAV/標準ディスク)

フレームナンバーを指定すれば、その画面から再生を行なうことができます。

- ディスクトレイの開閉動作中は、フレームナンバーサーチはできません。
- **20cm・30cm CDV** でフレームナンバーサーチをするときは、表示切換キーを押してフレームナンバー表示にします。

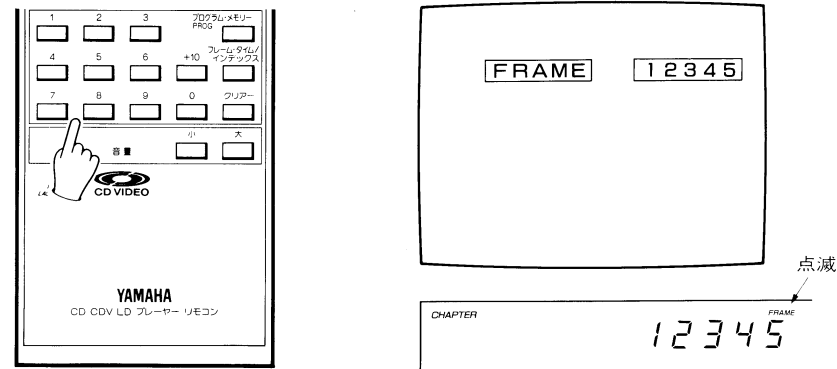
例)…12345番のフレームの映像をサーチするには

- 1 フレーム・タイムキーを押し、画面にフレームナンバー入力表示を出します。



- 2 テン(1~0)キーでフレームナンバーを指定します。

この場合は「1」、「2」、「3」、「4」、「5」、と押します。

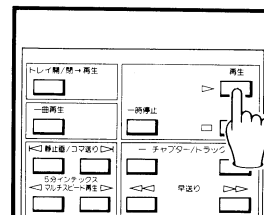


フレームナンバーを変更するときは、クリアキーを押してから新しいフレームナンバーを指定しなおしてください。

またクリアキーを2回続けて押す、またはもう一度フレーム・タイムキーを押しますと、フレームナンバーサーチを解除することができます。

- 3 再生キーを押します。

サーチ後、指定したフレームから再生がスタートします。



- フレームサーチ後に静止画再生をする場合は、再生キーのかわりに静止画/コマ送りキーを押します。

20cm・30cm CDV LD

画面単位で呼び出すには

■タイムナンバーサーチ

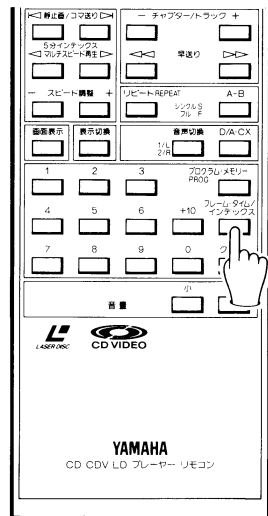
20cm・30cm CDV LD (CLV/長時間ディスク)

ディスクの任意の時間を指定し、そこから再生を行うことができます。ディスクによっては時間表示が「分」単位のもの、「秒」単位のものがあります。「分」単位のディスクでは一分間隔のタイムサーチとなり、秒単位のディスクでは一秒間隔のタイムサーチとなります。

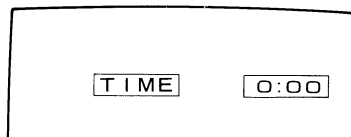
- **20cm・30cm CDV** でタイムナンバーサーチをするときは、表示切換キーを押してタイムナンバー表示にします。

例)…ディスクの頭から24分の画面をサーチするには

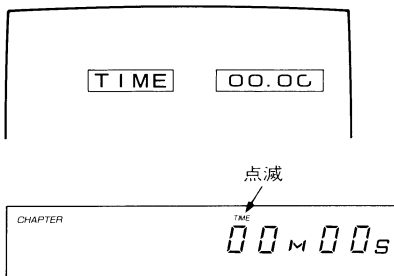
- 1 フレーム・タイムキーを押し、画面にタイムナンバー入力表示を出します。



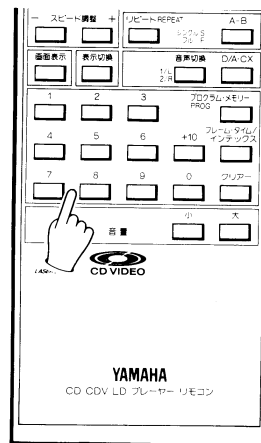
分単位のディスクの画面



秒単位のディスクの画面



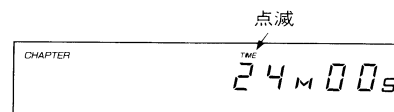
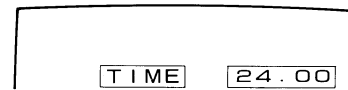
- 2 テン(1~0)キーでタイムナンバーを指定します。



分単位ディスクのときは
2|4と押します。



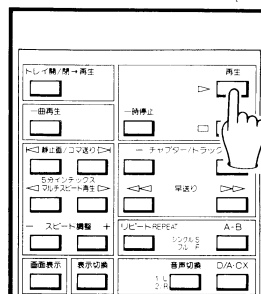
秒単位ディスクのときは
2|4|0|0と押します。



タイムナンバーを変更するときは、クリアーキーを押してから新しいタイムナンバーを指定しなおしてください。

またクリアーキーを2回続けて押す、またはもう一度フレーム・タイムキーを押しますと、タイムナンバーサーチを解除することができます。

- 3 再生キーを押します。



サーチ後、指定したタイムナンバーから再生がスタートします。

画面単位で呼び出すには

■5分インデックスサーチ

20cm・30cm CDV LD (CLV/長時間ディスク)

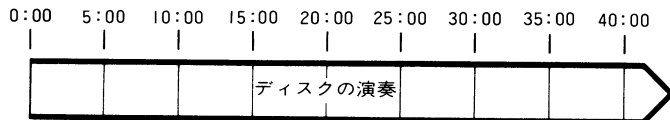
ディスクの頭から5分間隔に本機が自動的にインデックスを割り付けますので、そのインデックスを使って画面を呼び出すことができます。

- 5分インデックスサーチは、再生または一時停止中に行ってください。
一時停止中にサーチしたときは、サーチ後指定したインデックス（時間）で一時停止状態になります。

1 5分インデックスキーの“▷”または“◁”キーを押します。
一番近い5分インデックスのサーチを開始します。

- キーを押すごとに5分単位の時間を表示しサーチします。
- “◁” “▷” キーを押して表示されるインデックス（時間）は、現在再生している画面（時間）を基準にしています。

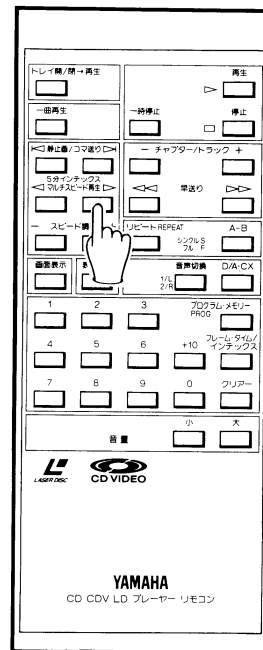
インデックス



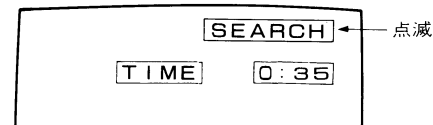
この時点で
▷を押すと：TIME 35：00を表示
◁を押すと：TIME 30：00を表示

サーチが終わりますと、指定したインデックス（時間）から再生が自動的にスタートします。

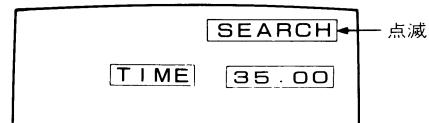
例) …ディスクの頭から35分の画面をサーチするには



分単位のディスクの画面



秒単位のディスクの画面



インデックスサーチ **CDV CD**

インデックスナンバーから再生するには

●インデックスナンバーとは

クラシック音楽など、ひとつの曲がいくつかの楽章によって構成されている場合、各楽章ごとにインデックスというナンバーがつけられているディスクがあります。そのようなディスクはインデックス単位で再生をスタートさせることができます。

●インデックスナンバーが記録されているディスクには **(INDEX)** マークがディスクのジャケットに記載されています。お確かめください。

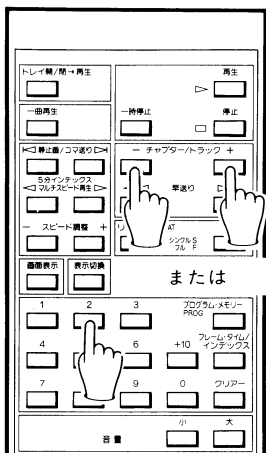
●**20cm・30cm CDV** でインデックスサーチをするときは、表示切換キーを押してインデックス表示にします。

例) トラック2のインデックスナンバー3から再生を始めるときには

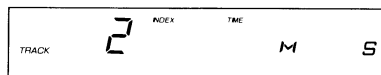
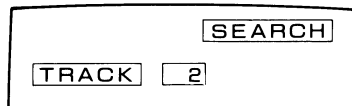
1 曲目		2 曲目		
インデックス1	インデックス2	インデックス1	インデックス2	インデックス3

→
ここから演奏を
はじめます。

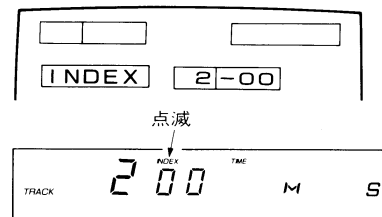
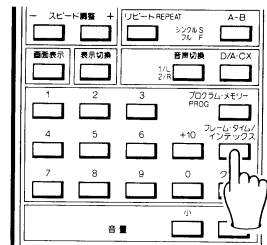
1 テン(1~0、+10)キーで再生するトラックを指定します。



この場合は`2`です。



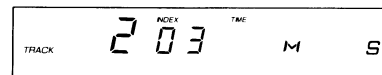
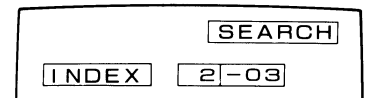
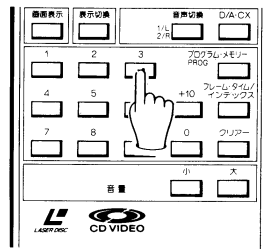
2 インデックスキーを押します。



インデックスナンバーを変更するときは、クリアーキーを押してから新しいインデックスナンバーを指定しなおしてください。
また、クリアーキーを2回続けて押しますと、インデックスサーチモードは解除されます。

3 テン(1~0、+10)キーを押してインデックスナンバーを指定します。この場合は`3`です。

`3`を押しますと、自動的にインデックスナンバー3のサーチを開始します。



* インデックスナンバーが記録されていないディスクに`2`以上のインデックスナンバーを指定しますと次の曲から再生します。

* 選択したトラックに記録されているインデックスナンバーより大きな数字を指定しますと、次のトラックを再生します。また12cmCDVでオーディオパートの最後のトラックに同様の指定をしますと停止します。

* インデックスの記録されていないディスクの再生中も`1`が表示されます。

プログラム再生

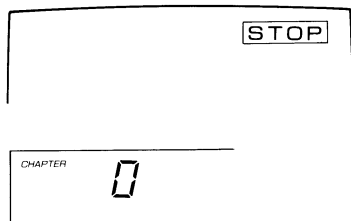
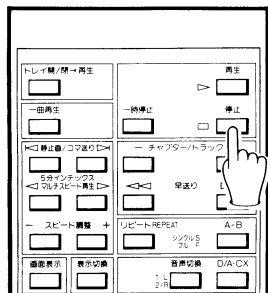
20cm・30cmCDV LD

最大プログラム数15まで、チャプターの順番を並び変えて再生することができます。

- チャプターナンバーの記録されていないディスクではプログラム再生することはできません。
- 20cm・30cmCDVはチャプターナンバー、トラックナンバーのどちらを使ってもプログラムすることができます。

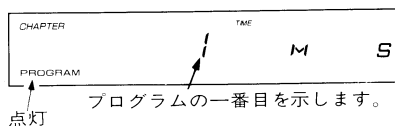
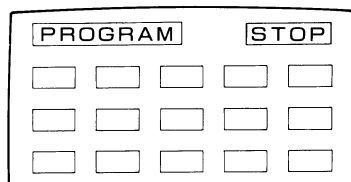
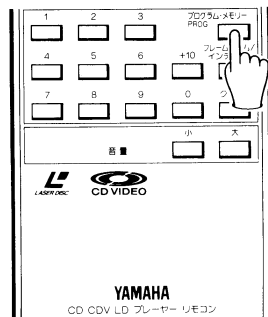
例) チャプター3、チャプター5の順番でプログラム再生するには

1 停止キーを押します。

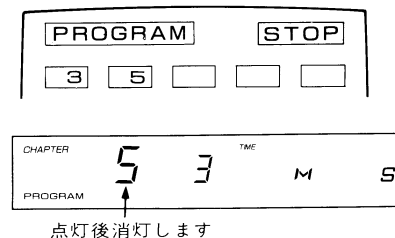
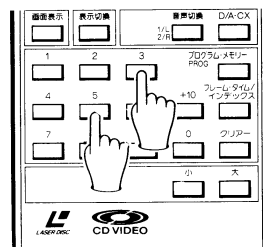


2 プログラム・メモリーキーを押します。

ディスプレイの“PROGRAM”が点灯します。



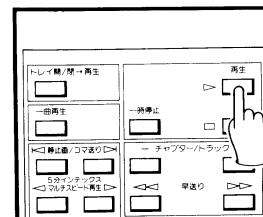
3 テン(1~0、+10)キーでプログラムするチャプターを選びます。 この場合は3、5とキーを押します。



- これで、チャプター3、5の順にプログラム再生がセットされました。(同様の方法でプログラム数15までメモリーすることができます。)
- チャプター番号を入力中に訂正するときは、チャプターキー(+、-)で訂正する箇所を指定し(数字が反転します)、新しいチャプター番号をテンキーで指定します。
- ディスクにないチャプター番号もプログラムすることができますが、実際のプログラム再生では、スキップされます。
- TOCのあるディスクでは画面およびディスプレイにはメモリーが完了するごとにプログラムの総再生時間が表示されますが、チャプターナンバーが21以上のチャプターをメモリーした場合、総再生時間は表示されません。※TOC(7ページ参照)

4 再生キーを押します。

プログラムの一番目のチャプターから再生がスタートします。この場合はチャプター3です。



- プログラム再生中にチャプターキー(+、-)を使いますと、前後のプログラムを頭出しして再生するチャプタースキップをすることができます。

■プログラムを変更、追加、削除、解除するときは**38**ページをご参照ください。

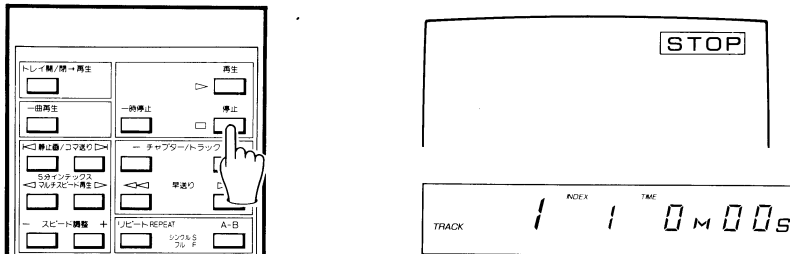
12cmCDV CD

ビデオパート、オーディオパートの区別なく最大プログラム15まで、トラック(曲)の順番を変えて再生することができます。

- ディスクトレイが開いているときなど、ディスクの情報が読み込まれていないときは、ディスクに無いトラックナンバーもプログラムできますが、ディスクの情報を読み取られた時点で、そのトラックナンバーは自動的に削除されます。

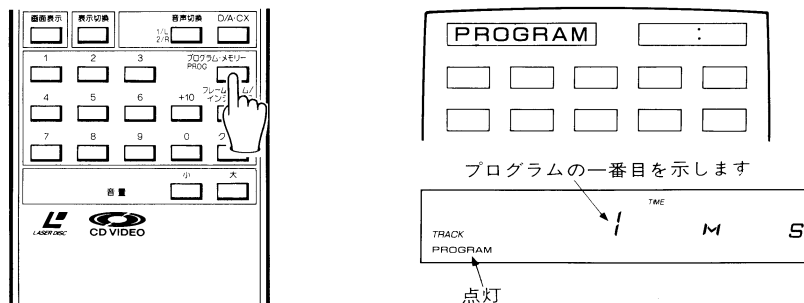
例) トラック3、トラック5の順番でプログラム再生するには

1 停止キーを押します。



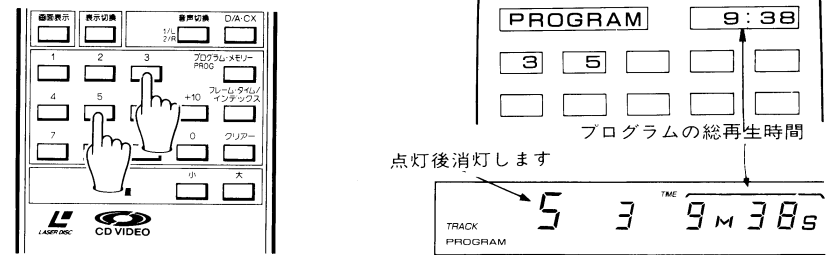
2 プログラム・メモリーキーを押します。

ディスプレイの「PROGRAM」が点灯します。



3 テン(1~0、+10)キーでトラックを選びます。

この場合は3、5と押します。

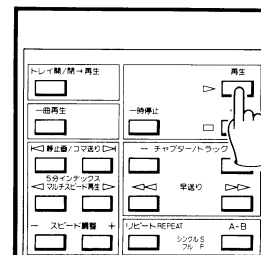


これでトラック3、5の順にプログラム再生がセットされました。(同様の方法で15までのトラックをメモリーすることができます。)

- トラック番号を入力中に訂正するときは、トラックキー(+、-)で訂正する箇所を指定し(数字が反転します)、新しいトラック番号をテンキーで指定します。
- 画面およびディスプレイにはメモリーが完了することにプログラムの総再生時間が表示されますが、トラックナンバーが21以上のトラックをメモリーした場合に、総再生時間は表示されません。

4 再生キーを押します。

プログラムの一番目のトラックから再生がスタートします。この場合はトラック3です。



- プログラム再生中にトラックキー(+、-)を使いますと、前後のトラックを頭出しして再生するトラックスキップをすることができます。

■ プログラムを変更、追加、削除、解除するときは**38**ページをご参照ください。

メモリー再生

■一度プログラムをセットしたあとの変更、追加、削除、解除のしかた

●変更のしかた

- 1 停止キーを押し、プログラム表示にします。
- 2 チャプター／トラックキーで変更したいプログラムを選び、新しいチャプター／トラックナンバーをテンキーで指定します。

●追加のしかた

- 1 停止キーを押し、プログラム表示にします。
- 2 チャプター／トラックキーの“+”を押し、追加するための枠（枠が白く反転します）を増やします。
- 3 追加したいチャプター／トラックナンバーをテンキーで指定します。
(必要に応じて2、3の手順を繰り返します。)

●削除のしかた

- 1 停止キーを押し、プログラム表示にします。
- 2 チャプター／トラックキーで削除するプログラムを選びクリアキーを押しますと、そのチャプター／トラックはプログラム再生時に削除されます。

●プログラムの解除（取り消し）のしかた

- 1 停止キーを押し、プログラム表示にします。
- 2 クリアキーを押し、画面（ディスプレイ）の“PROGRAM”の文字を消しますと、プログラムはすべて解除されます。
 - プログラムはディスクトレイを開閉したり、一度電源を切りますと解除されます。

再生中にプログラム・メモリーキーを押しておきますと、あとでその位置から再生をスタートさせることができます。

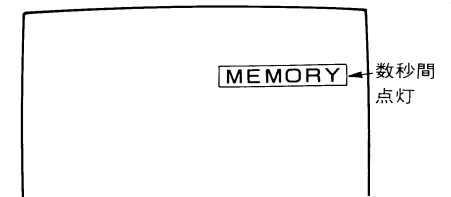
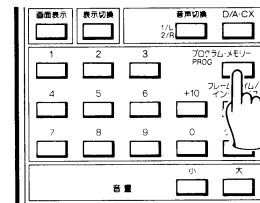
- プログラム再生中はメモリー再生はできません。

20cm・30cmCDV LD

- フレームナンバーあるいはタイムナンバーをメモリーします。

20cm、30cmCDVは表示切換キーを押して、フレームナンバーあるいはタイムナンバー表示にします。

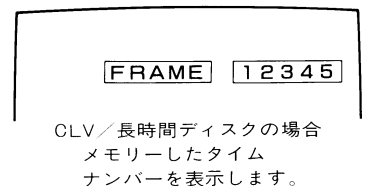
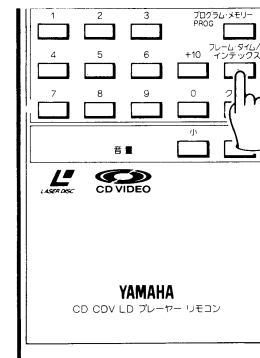
- 1 メモリーしたい場面でプログラム・メモリーキーを押します。
“MEMORY”の文字が表示されます。



- 2 フレーム・タイムキーを押します。

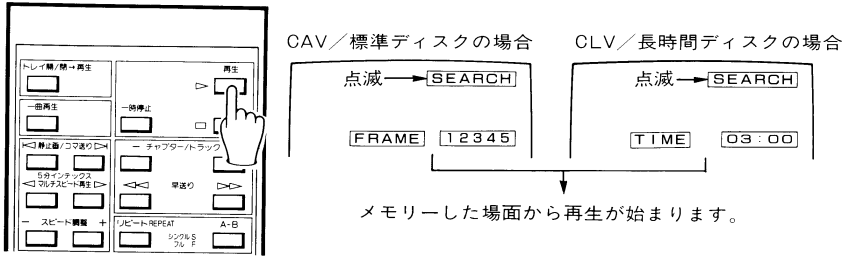
メモリーしたフレームナンバーまたはタイムナンバーが表示されます。

CAV／標準ディスクの場合
メモリーしたフレーム
ナンバーを表示します。



3 再生キーを押します。

メモリーした場面をサーチして再生します。



- 再生中に停止キーを押して再生を中止した場合は、フレーム・タイムキーを押してフレームナンバーあるいはタイムナンバーを表示させてから再生キーを押しますと、さきほど停止させた画面から再生をスタートさせることができます。
- 20cm・30cmCDV(CAV/標準ディスク)はフレームナンバー表示中は、フレームナンバーメモリーとなり、他の表示のときは、CDV、CDと同様の操作となります。
- "分"単位で記録されたディスクでは"分"の最初に戻って再生がスタートしますので、メモリーした画面とは異なることがあります。

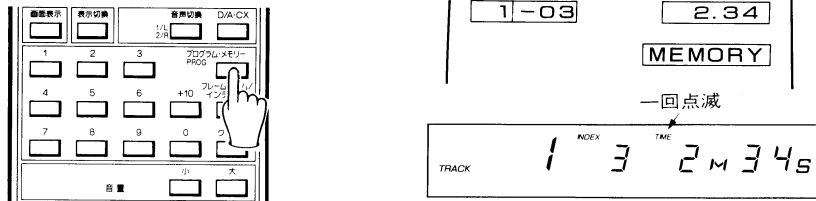
12cmCDV CD

●トラックとインデックスをメモリーします。

20cm、30cmCDVは表示切換キーを押して、トラックタイム表示にします。

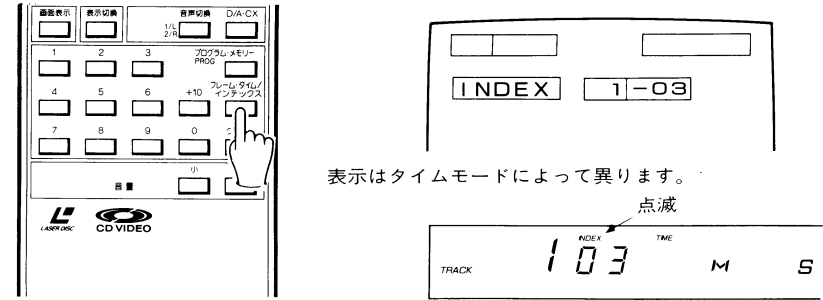
1 メモリーしたい箇所プログラム・メモリーキーを押します。

キーを押しますとディスプレイの"TIME"が一度点滅します。(画面には一度"MEMORY"が表示されます)



2 フレーム・タイムキーを押します。

ディスプレイの"INDEX"が点滅、メモリーしたインデックスが表示されます。

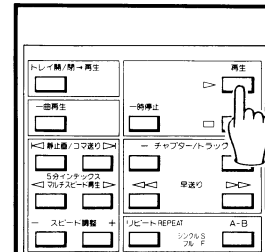


表示はタイムモードによって異なります。

3 再生キーを押します。

メモリーした位置をサーチ後、そこから再生がスタートします。

- 一時停止キーを押しますと、メモリーした位置で一時停止状態になります。



- メモリー再生はトラックタイム表示、トータルタイム表示、リメインタイム表示のいずれの状態でも可能です。またメモリーされた時間は、クリアーキーあるいは表示切換キーを押すと消え、トラックタイム表示になります。
- 再生中に停止キーを押して再生を中止した場合は、フレーム・タイムキーを押してトラックタイムとインデックスを表示させてから再生キーを押しますと、さきほど停止させた位置から再生をスタートさせることができます。

マルチスピード再生 **20cm・30cm CDV LD (CAV/標準ディスク)** 再生速度を変えるには

LDや20cm・30cmCDV のCAV/標準ディスクではスピード調整キーにより、10段階の再生速度を選ぶことができます。(マルチスピード再生)
電源を入れたときは、3倍速が設定されています。これよりも速くしたいときはスピード調整キーの+キー、遅くしたいときは-キーを押します。

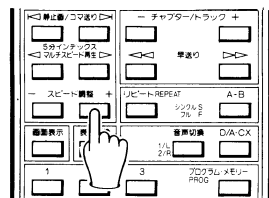
速 さ	画面上の表示	
ハイスピード再生	12倍速	*12
	3倍速	*3
	2倍速	*2
標準スピード		*1
スローモーション再生	1/2の速さ	1/2
	1/4の速さ	1/4
	1/8の速さ	1/8
	1/16の速さ	1/16
	1秒1コマ送り	1 SEC
	3秒1コマ送り	3 SEC

メモ

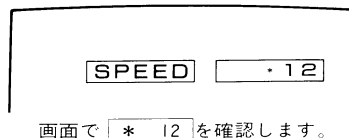
- 選んだ速さは他の再生モードに換えた場合でも記憶され続けますが、電源を切ると3倍速に戻ります。
- マルチスピード以外の再生モード時にもスピード調整キー(+、-キー)を受け付け、マルチスピード再生時のスピードをあらかじめ変えておくことができます。
- マルチスピード再生中はすべてのスピード(*1を含め)で音は出ません。

■ハイスピード再生

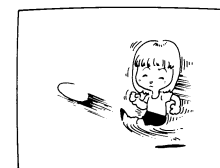
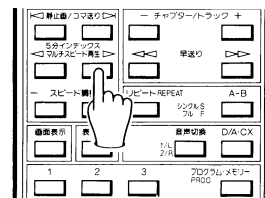
1 スピード調整キーの“+”キーを押し、スピードを設定します。



例) 12倍速で再生するには
この場合は*12を表示させます。



2 マルチスピード再生キーの“▷”キーを押します。
(逆転再生するときは、“◁”キーを押します。)



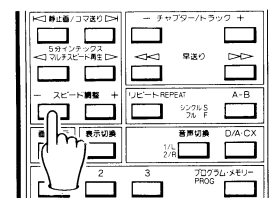
12倍速でハイスピード再生となります。
(音声は消えます。)

* 通常の再生に戻るときは、再生キーを押してください。

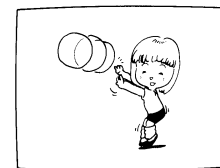
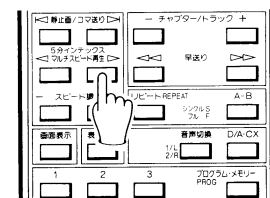
■スローモーション再生

1 スピード調整キーの“-”キーを押し、スピードを設定します。

例) 1/2の速さで再生するには
この場合は1/2を表示させます。



2 マルチスピード再生キーの“▷”キーを押します。
(逆転再生するときは、“◁”キーを押します。)



1/2の速さでスローモーション再生となります。
(音声は消えます。)

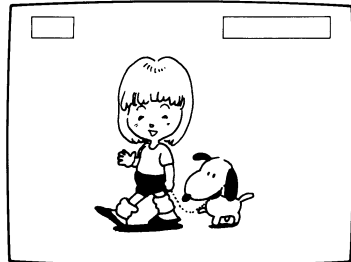
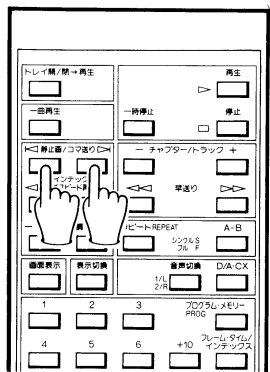
* 通常の再生に戻るときは、再生キーを押してください。

静止画／コマ送り再生 20cm・30cm CDV LD (CAV/標準ディスク) 見たい場面で止めるには

マルチスピード再生

■静止画再生

静止画／コマ送りキー(◀, ▶)のどちらか一方を押すと、映像が静止します。



- 音声は出ません。
- * 再生するディスクによっては完全な静止画にはならず、画像がブレルことがあります。
- * 通常の再生に戻すときは、プレイキーを押してください。

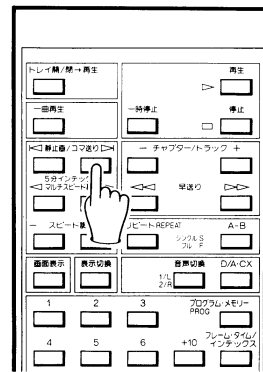
メモ
画面静止状態でも早送り、早戻しを行なうことができますので、見たい画面を素早く探すときに便利です。この状態で早送り、早戻しを行なった後は、静止画面となります。

■コマ送り再生

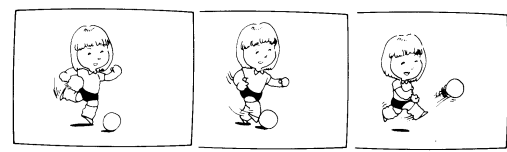
〔順方向〕

静止画にした後、▶ キーを押すたびに画面が順方向にコマ送りされます。押し続けると、連続的なコマ送り再生となります。

- 音声は出ません。



順方向 →

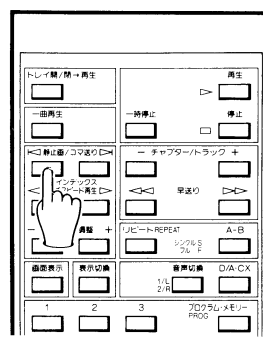


* 通常の再生に戻すときは、再生キーを押してください。

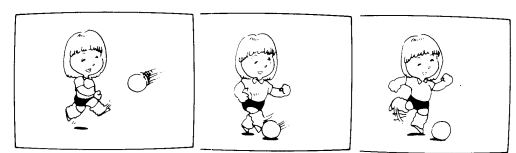
〔逆方向〕

静止画にした後、◀ キーを押すたびに画面が逆方向にコマ送りされます。押し続けると、連続的なコマ送り再生となります。

- 音声は出ません。



逆方向 →



* 通常の再生に戻すときは、再生キーを押してください。

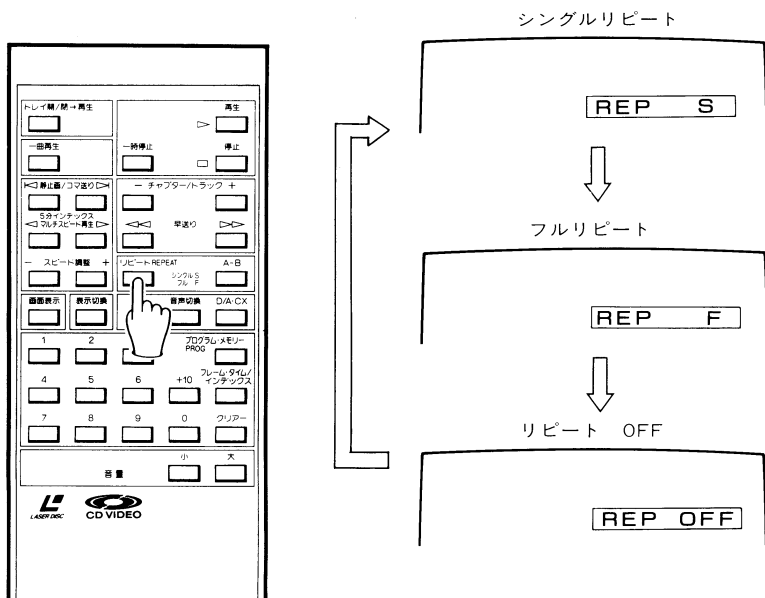
リピート再生 再生を繰り返すには

ディスクの片面または再生したい箇所だけを繰り返して再生することができます。
リピート再生には4種類あります。

- シングルリピート (REPEAT S) : 1チャプターまたは1トラックを繰り返して再生します。
- フルリピート (REPEAT F) : ディスクの片面全部を繰り返し再生します。
- A-Bリピート (REPEAT A-B) : 指定した2点間を繰り返し再生します。
- プログラムリピート : プログラムを繰り返し再生します。

■リピートモードの切り換えについて

リピートキーを押すごとにリピート機能が切り換わります。



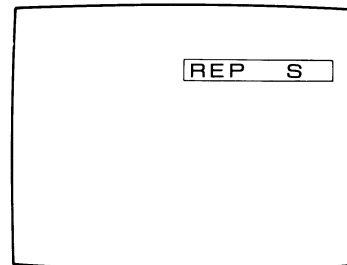
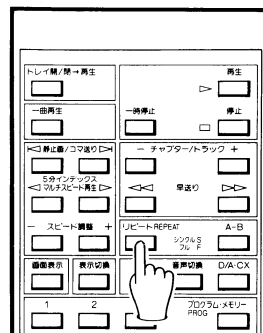
* リピートを解除する場合はリピートキーを押してREPEAT SまたはFまたはA-Bの文字をディスプレイから消してください。(画面にはREP OFFが一度表示されます)

20cm・30cmCDV LD

■シングルリピート (REPEAT S)

(チャプターナンバーが記録されているディスク)

現在再生しているチャプター(またはトラック)を繰り返し再生します。

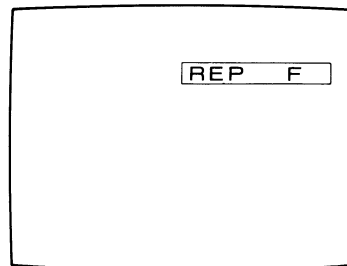
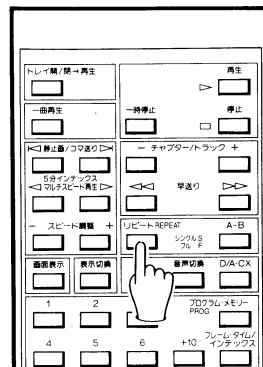


同じチャプター(トラック)を繰り返して再生します。

リピートキーをこの画面になるまで押します。
REP Sは数秒間点灯します。

■フルリピート (REPEAT F)

ディスクの片面を繰り返し再生します。

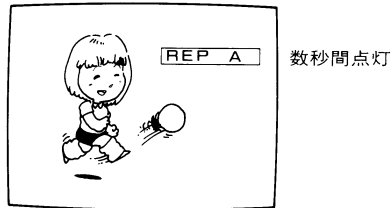
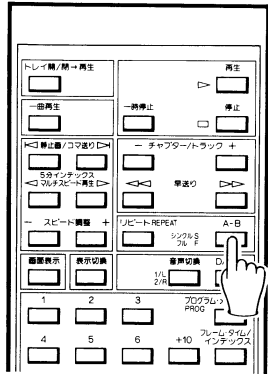


ディスクの片面を繰り返して再生します。

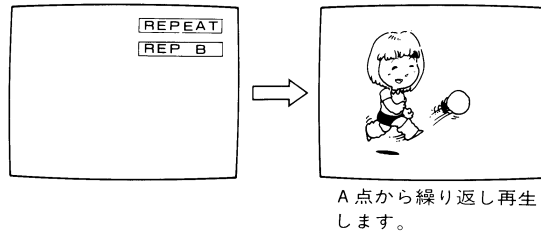
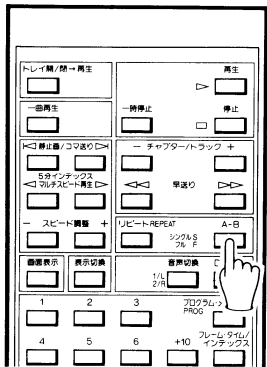
リピートキーをこの画面になるまで押します。
REP Fは数秒間点灯します。

■A-Bリピート

- 1 繰り返したい箇所になりましたらA-Bキーを押します。
A点が指定されます。



- 2 繰り返しを終えたい箇所になりましたら、A-Bキーを押します。
B点が指定され、下のような表示が現れた後、A-B間を繰り返し再生します。



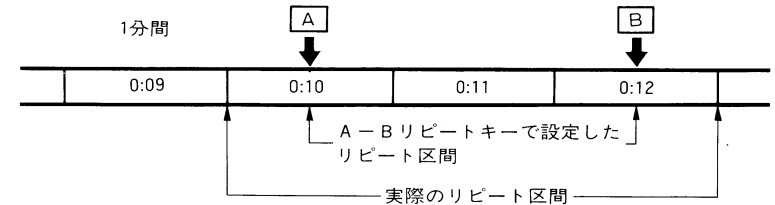
●プログラム再生中はA-Bリピートはできません。

ご注意

CLV/長時間ディスクのリピート区間について

CLV/長時間ディスクのリピートは、ディスクに記録されたタイムによって行なわれます。ディスクは「分」を最小単位として記録されたものと「秒」単位まで記録されたものがあります。A-Bリピートを行なう場合、「秒」まで記録されたディスクでは再生時にA-Bキーを押した点(場面)と実際のリピート区間およびサーチ点(場面)はディスクプログラム上でほぼ一致しますが、分単位で記録されたディスクでは必ずしも一致しません。

例)「分」単位で記録されたディスクでのA-Bリピート



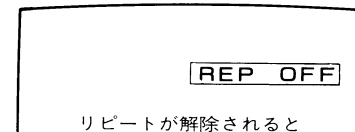
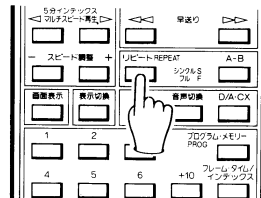
「分」単位でタイム記録されたディスクでの最短のリピート区間は1分間です。同一の「分」でA-Bキーを押すと1分間のリピートとなります。

■プログラムリピート

プログラム再生中はシングルリピートやプログラムのフルリピートもできます。

■リピートを解除するには

リピートキーを押して画面にREP OFFを表示させるか、ディスプレイのREPEAT表示を消灯させますと、すべてのリピートが解除されます。

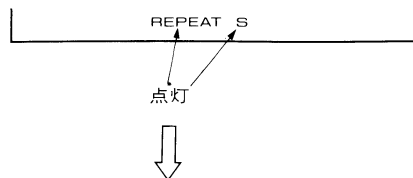
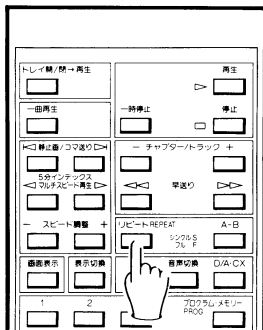


リピートが解除されると通常の再生となります。

CDV CD

■シングルリピート

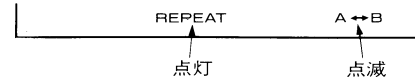
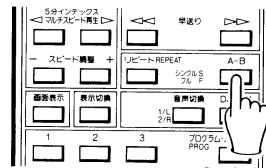
再生中のトラックを繰り返し再生します。
画面には“REP S”が一度表示されます。



同じトラックを繰り返し再生します。

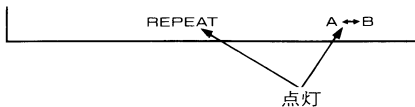
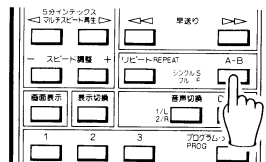
■A-Bリピート

- 1 繰り返したい箇所になりましたらA-Bキーを押します。
A点が指定されます。



●プログラム再生中はA-Bリピートできません。

- 2 繰り返しを終えたい箇所になりましたら、A-Bキーを押します。
B点が指定されます。同時にA点のサーチに移り、A点から再生がスタートします。

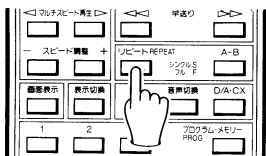


トラックの一部やトラックをまたがったA-Bリピートはできませんが、12cmCDV
ではオーディオパートとビデオパートにまたがるA-Bリピートはできません。

■プログラムリピート

プログラム再生中はシングルリピートやプログラムフルリピートをすることができません。

■リピートを解除するには



リピートキーを押して画面にREP OFFを表示させるか、ディスプレイの REPEAT 表示を消灯させますと、すべてのリピートが解除されます。

故障かなと思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められました場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお問合せまたはサービスをご依頼ください。

LD、CDV、CD共通

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
電源が入らない	電源プラグがコンセントからはずれている	しっかり差し込んでください
再生が始まらない	ディスクがセットされていない	ディスクをセットしてください
ディスクトレイが出てきてしまう	ディスクがひどく汚れている	クリーニングしてください(→9ページ)
	ディスクが変形(そりなど)している	矯正すると変形が軽減されることがあります(→9ページ)
リモコンで操作できない	リモコンの電池が消耗している	電池を交換してください(→5ページ)
	リモコン操作の距離、角度が適切でない	7m以内、30°以内で操作してください(→5ページ)
リモコンを操作するとテレビが誤動作する	ワイヤレスリモコン機能をもつテレビを使用している場合	テレビが本機のそばにセットされている
ブーンというハム音が出る	接続コードのプラグの接続不良	接続コードのプラグをしっかりと差し込みなおしてください
チューナーにノイズがはいる	本機とチューナーの設置場所が近い	チューナーから遠ざけるか、本機の電源を切ってください

LD、20cm・30cmCDV、12cmCDVのビデオパート再生時

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
ディスクは回転しているが映像が出ない	テレビ(カラーモニター)の電源が切れている	テレビ(カラーモニター)の電源を入れてください
	接続が不完全	正しく接続し直してください(→11、12ページ)
画質が悪い	ディスクがひどく汚れている	クリーニングしてください(→9ページ)
画面が乱れる	ディスクが変形(そりなど)している	矯正すると変形が軽減されることがあります(→9ページ)

LD、20cm・30cmCDV再生時

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
音が出ない	マルチスピード再生をしている	再生キーを押して、標準再生モードにしてください。
	接続するテレビ、アンプのボリュームが絞ってある	テレビまたはアンプのボリュームを適当な音量に調節します
	音声入力端子付テレビを使用している場合	音声ケーブルの接続が不完全
音声が不自然に聞こえる	CX NRをONにするように指示されている CLV/長時間ディスクを再生している	ジャケットの指示に従ってCX NRをONにしてください(→25ページ)
マルチスピード再生、静止/コマ送り再生、フレームサーチができない	CLV/長時間ディスクを再生している	CLV/長時間ディスクはマルチスピード再生、静止/コマ送り再生、フレームサーチができません

故障かなと思ったら

12cmCDV再生時

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
音声が出ない	ディスクが裏がえしにセットされている	ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください
	接続するテレビ、アンプのボリュームが絞ってある	テレビまたはアンプのボリュームを適当な音量に調節します
A-Bリピートができない	A、Bの2点がオーディオパートとビデオパートにまたがっている	A-Bリピート(→44ページ)を参照してください
プレイキーを押すとディスクの途中から再生が始まってしまう	CDVでは必ずビデオパートから再生がスタートします。	ディスクの最初から再生するときは、トラックキーでトラック1を指定してください

CD再生時

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
ディスクを入れても演奏が始まらない	ディスクが裏がえしにセットされている	ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください
	ディスクがひどく汚れている	クリーニングしてください(→9ページ)
音が出ない	接続が不完全	正しく接続し直してください(→11、12ページ)

参考仕様

■型式

LD、CDV、CD再生フルコンビネーションプレーヤー

1ピックアップ、1スピンドルモーター

方式 レーザービジョン方式

信号方式 NTSC方式準拠

再生可能ディスク **LD** すべてのNTSCレーザービジョンディスク

20cm、30cm標準ディスク(CAV)

20cm、30cm長時間ディスク(CLV)

CDV 12cm、20cm、30cmディスク

CD 8cm、12cmディスク

■構成

<ビデオ系>

Philips-MCA方式に基づく光学式ビデオディスクシステム。NTSC方式。

光ピックアップ： 2軸レンズ駆動、3ビーム方式、メカニカルチルトサーボ

タンジェンシャルサーボ：ダイレクトFM TBC

その他： ビデオノイズリダクション

<オーディオ系>

ビデオディスクアナログ音声復調 デジタルFM検波

ビデオディスク アナログ音声ノイズリダクション デジタルCXノイズリダクション

デジタル音声部 エラー訂正方式 CIRC 2重

デジタル音声部 D/A変換 18ビットリニア×2

デジタル音声部 フィルター 8fsデジタルフィルター

■出力端子

ビデオ出力 映像信号 : 1 Vp-p(75Ω負荷時、同期負)
ピンジャック

S-映像信号 : 輝度信号 1 Vp-p(75Ω負荷時、同期負)
色信号 0.286 Vp-p (75Ω負荷時、同期負)
S端子専用ジャック

オーディオ出力 音声信号 (左、右)

: 200mVr.m.s.(1kHz、40%変調：アナログ)

200mVr.m.s.(1kHz、-20dB：デジタル)

出力インピーダンス 1.1kΩ

●デジタル/アナログの両方の音声で記録されたディスクは自動的にデジタル音声が、アナログで記録されたディスクはアナログ音声で出力されます。
ステレオピンジャック

(デジタル→アナログ音声切換可能)

デジタル音声出力(光方式) ●LDアナログ音声を含む全モード出力

ヘッドホン出力(150Ω、-20dB) 280mV

標準ジャック

■ビデオ信号

水平解像度 440本

輝度信号S/N比 48dB

■オーディオ信号

周波数特性 5 Hz~20kHz $+0.5$ / -1.0 dB(デジタル音声)

S/N比 110dB(デジタル音声) EIAJ

ダイナミックレンジ 97dB(デジタル信号) EIAJ

全高調波歪率 0.0035%(1kHz、0dB)(デジタル音声) EIAJ

チャンネルセパレーション 100dB(1kHz)(デジタル音声) EIAJ

■総合

電源 AC 100V 50/60Hz

消費電力 30W

外型寸法 435(W)×135(H)×413.5(D)mm

重量 9.3kg

許容動作温度/湿度 5°C~35°C / 0~90%(結露のないこと)

■付属品

リモコン 乾電池(SUM-4)×2
音声ケーブル×1 映像ケーブル×1

●仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハ ホットライン サービス ネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスの依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

●保証期間

お買い上げ日より1年間です。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間

当社はレーザービジョンプレーヤーの補修用性能部品を製造打切り後最低8年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

(右欄サービス拠点の所在地と電話番号をご参照ください。)

●症状は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また**製品の品名、製造番号**などもあわせてお知らせください。

※品名、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

■ヤマハ電気音響製品サービス拠点

(電気音響製品の修理受付および修理品お預かり窓口)

北海道	〒064 札幌市中央区南10条西1-1-50 ヤマハセンター内 TEL(011)513-5036
仙台	〒983 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL(022)236-0249
東京	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL(044)434-3100
新潟	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL(025)243-4321
松本	〒390 松本市大手2-5-2 中村屋ビル3F TEL(0263)32-5930
浜松	〒435 浜松市上西町911番地 ヤマハ宮竹工場内 TEL(0534)65-6711
名古屋	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ名古屋流通センター3F TEL(052)652-2230
京都	〒600 京都市下京区七条通間之町東入材木町483 第2マスイビル TEL(075)361-6470
大阪	〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内 TEL(06)877-5262
神戸	〒650 神戸市中央区元町2-7-3 ヤマハ神戸店内 TEL(078)321-1195
四国	〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ高松店内 TEL(0878)22-3045
広島	〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39 TEL(082)874-3787
九州	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL(092)472-2134

■お客様ご相談窓口

北海道	〒064 札幌市中央区南10条西1-1-50 ヤマハセンター内 北海道営業所 TEL(011)512-6115
仙台	〒980 仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命仙台青葉通ビル4F 東北営業所 TEL(022)223-3101
東京	〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4 龍名館ビル4F 首都圏第一営業所 TEL(03)255-5691 首都圏第二営業所 TEL(03)255-2201 神田営業所 TEL(03)255-6767
新潟	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル 北関東営業所 TEL(025)241-2084
神奈川	〒211 川崎市中原区木月1184 ヤマハ日吉センター内 神奈川営業所 TEL(044)434-4871
浜松	〒433 浜松市幸3-5-8 ヤマハ四ツ池センター内 浜松営業所 TEL(0534)71-1207
名古屋	〒464 名古屋千種区東山通5-65 ヤマハ東山センター内 中部営業所 TEL(052)782-7551
大阪	〒556 大阪市浪速区敷津東1-9-16 ヤマハなんばセンター内 関西営業所 TEL(06)647-6411 日本橋営業所 TEL(06)647-6411 中央営業所 TEL(06)647-6411
広島	〒730 広島市中区紙屋町1-1-20 いざぎん広島ビル内 中国営業所 TEL(082)244-3745
九州	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 九州営業所 TEL(092)472-2131
本社	〒430 浜松市中沢町10-1 AV機器事業部 お客様ご相談センター TEL(0534)60-3409

ヤマハ株式会社

〒430 浜松市中沢町10-1

AV機器事業部

国内営業部 TEL.(0534)60-3451
生産部品質保証課 TEL.(0534)60-3405

住所および電話番号は変更になる場合があります。